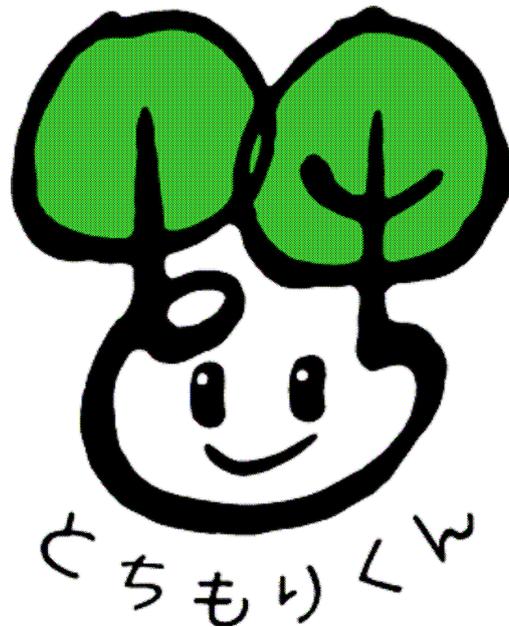


平成22年度

とちぎの元気な森づくり県民税事業

評価報告書



平成23年10月

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会

目 次

● 総合評価	・・・・・・・・	p 1
● 平成22年度事業実績概要	・・・・・・・・	p 2
1. とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業	・・・・・・・・	p 3
2. 明るく安全な里山林整備事業	・・・・・・・・	p 5
3. 元気な森を育む木の良さ普及啓発事業	・・・・・・・・	p 7
4. とちぎ森づくり情報センター事業	・・・・・・・・	p 9
5. とちぎ「森の楽校(がっこう)」事業	・・・・・・・・	p10
6. とちぎの元気な森づくり県民会議事業	・・・・・・・・	p11
7. とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会事業	・・・・・・・・	p12
8. とちぎの元気な森づくり県民広報事業	・・・・・・・・	p13
9. 森づくり活動地域支援事業	・・・・・・・・	p14
10. 木の香る環境づくり支援事業	・・・・・・・・	p15
11. 特色ある緑豊かな地域推進事業	・・・・・・・・	p16

(資 料)

● 各事業関係資料	・・・・・・・・	p19
● 税事業の実施方法及び今後のあり方に関する主な意見	・・・・・・・・	p73
● とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会	・・・・・・・・	p75

総 合 評 価

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会では、税の使途の透明性・公平性を確保するため、これまで現地調査を含め3回の委員会を開催し、平成22年度税事業の執行状況や効果について検証・評価を行ってきた。

その結果を、ここに評価報告書として取りまとめたので、今後とも、この税による森林の公益的機能の維持、増進への取組が、県民の皆様にとってより良いものとなるよう、本報告書に基づき一層推進されることを期待する。

□評価

- 平成22年度に実施された、奥山林整備、里山林整備、森を育む人づくりのすべての事業について、概ね効果的、効率的に執行されているものと認められる。

引き続き、「有効性」、「効率性」、「進ちょく度」に十分配慮し、事業の適正な執行に努めること。

□個別の課題・改善点

■とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業について

- 間伐材のさらなる有効活用や効率的な獣害対策の実施について検討を行うこと。

■とちぎの森づくり情報センター事業について

- ホームページ「とちぎの森づくり」の内容の充実を図り、広く周知を図る必要があり、具体策について検討を行うこと。

平成23年10月

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会

● 平成22年度事業実績概要

	(計 画 額)	(実 績 額)
(1) 財源	1,155,499 千円	1,137,480 千円

	(計 画)	(実 績)
1 とちぎの元気な森づくり基金	951,799 千円	933,780 千円
(内訳) とちぎの元気な森づくり県民税収相当額	865,000 千円	843,391 千円
寄附金	- 千円	3,590 千円
利子	93 千円	93 千円
基金残金	86,706 千円	86,706 千円
2 国庫補助金	203,700 千円	203,700 千円

	(計 画 額)	(実 績 額)
(2) とちぎの元気な森づくり県民税事業費	1,155,499 千円	1,115,368 千円

(奥山林整備事業の国庫補助金を含む。)

(事業名)	(計 画)	(実 績)	(実績率)
		[全体事業費に占める率]	
1 【元気な森づくり】 とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業	719,800 千円	729,680 千円	
(間伐面積) 2,827 ha	3,302 ha	[65.4%]	116.8%
(獣害対策面積) 240 ha	320 ha		133.3%
(森林バイオマス利用モデル面積) 36 ha	37 ha		102.8%
2 【元気な森づくり】 明るく安全な里山林整備事業	281,965 千円	245,210 千円	
(整備面積) 579 ha	638 ha	[22.0%]	110.2%
3 【森を育む人づくり】 元気な森を育む木の良さ普及啓発事業	63,200 千円	61,644 千円	
(木製学習用机・椅子配布数) 2,000 セット	2,000 セット	[5.5%]	100.0%
(木製ベンチ配布数) 500 セット	500 セット		100.0%
4 【森を育む人づくり】 とちぎ森づくり情報センター事業	9,490 千円	8,489 千円	
		[0.8%]	
5 【森を育む人づくり】 とちぎ森の楽校(がっこう)事業	11,822 千円	9,003 千円	
		[0.8%]	
6 【森を育む人づくり】 とちぎの元気な森づくり県民会議事業	7,768 千円	7,607 千円	
		[0.7%]	
7 【森を育む人づくり】 とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会事業	818 千円	526 千円	
		[0.0%]	
8 【森を育む人づくり】 とちぎの元気な森づくり県民広報事業	10,336 千円	9,342 千円	
		[0.8%]	
9 【森を育む人づくり】 森づくり活動地域支援事業	12,900 千円	11,759 千円	
		[1.1%]	
10 【森を育む人づくり】 木の香る環境づくり支援事業	33,000 千円	29,209 千円	
		[2.6%]	
11 【森を育む人づくり】 特色ある緑豊かな地域推進事業	4,400 千円	2,899 千円	
		[0.3%]	

【元気な森づくり】

1. とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業

■事業の内容・実績

- ・手入れが行き届いていないスギ・ヒノキの人工林で間伐を行う。
- ・クマやシカなどの獣害から樹木を守るための対策に支援する。
- ・作業路を整備し、伐り捨てられた間伐材をバイオマス資源として利活用する取組に支援する。

・平成22年度実績				
整備面積	間伐	3,302ha	(18市町)	95箇所
	獣害対策	320ha	(5市町)	505箇所
	森林バイオマス利用モデル	37ha	(5市町)	6箇所
決算額	729,680千円(うち国庫補助金210,354千円)			

■評価 (資料p19~47参照)

1 有効性 : 事業によって得られた効果

- (1) 間伐〔便益計算〕
 - ・188千円/haの森林整備費(間伐)に対して、洪水防止や土砂流出防止など1,617千円/haの便益が得られたことから、事業の有効性が認められる。
- (2) 獣害対策〔アンケート調査〕
 - ・獣害防止資材を設置した樹木はほとんどが「被害なし」であり、森林所有者の今後の森林の適正管理に対する前向きな回答が9割以上あったことなどから、事業の有効性が認められる。
- (3) 森林バイオマス利用モデル〔CO₂削減量計算・アンケート調査〕
 - ・37haの事業(間伐材の玉切り、集材、利用促進路整備)の実施により、343t-CO₂の排出量を削減するとともに、森林所有者からは「健全な森林管理に取り組みたい。」、事業者からは「今後もこの事業に取り組んでいきたい。」など、今後の森林管理に対し、前向きに意識が変化したことから、事業の有効性が認められる。

2 効率性 : 事業に使った経費の度合

- (1) 間伐
 - ・類似事業に取り組んでいる他県と比較すると、間伐率や作業路の整備の有無など整備内容に違いがあるものの、1ha当たりの整備費は他県よりも安価となっており、効率性は確保されている。
- (2) 獣害対策
 - ・1ha当たりの対象経費は他県よりも高価となっているが、本県は資材の設置への支援、他県は資材の購入のみへの支援と、獣害の実情の違いから支援内容が異なっており、効率性が低いとは一概には判定し難い。これまでの実績を踏まえ、有効性、確実性を考慮し総合的に判断すると、現在の支援内容による事業実施はやむを得ない。
- (3) 森林バイオマス利用モデル
 - ・本県の場合は作業経費に対する支援、他県はCO₂固定効果としての算定額に対する支援と、支援内容に違いがあるものの、1ha当たりの対象経費は他県よりも安価となっており、効率性は確保されている。

3 進捗よく度 : 計画に対する事業の進みぐあい

- (1) 間伐
 - ・計画面積2,827haに対し、3,302haを整備し、計画を上回る間伐が進んだ。
- (2) 獣害対策
 - ・計画面積240haに対し、320haを整備し、計画を上回る獣害対策が進んだ。
- (3) 森林バイオマス利用モデル
 - ・計画面積36haに対し、37haを整備し、計画どおり間伐材の有効活用が進んだ。

平成22年度事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・15年以上手入れがされず機能の低下した3,302haの森林における間伐と、320haの野生獣被害森林への剥皮被害防止対策及び37haの森林からの森林バイオマス利用の実施により、森林の公益的機能が向上した。
今後に向けた課題	<ul style="list-style-type: none"> ・間伐については、間伐材の有効活用など国の施策動向などを踏まえた見直しを検討する必要がある。 ・獣害対策については、今年度実施する被害の現況調査の結果や国等における獣害対策手法の検討結果を踏まえ、総合的に検討していく必要がある。 ・森林バイオマス利用モデルについては、事業成果や県の計画、国の施策動向などを踏まえ、森林バイオマス資源の活用促進を図るため、事業の本格的な実施について検討する必要がある。
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進捗しているものと認められる。 ・ただし、間伐材のさらなる有効活用や獣害対策の効率的な実施について検討を行うこと。

【元気な森づくり】

2. 明るく安全な里山林整備事業

■事業の内容・実績

- ・身近な里山林を、住民が将来まで守り育てる地域の憩いの場などに再生したり、通学路や住宅地周辺の安全・安心を確保したり、野生獣被害を軽減するために整備する。

・平成22年度実績

整備面積 638ha（全市町 114箇所）

決算額 245,210千円

■評価（資料p48～61参照）

1 有効性

〔アンケート調査〕

（1）将来まで守り育てるとちぎの里山林整備

- ・美しい景観になったと思う人、自然観察等をしやすくなったと思う人が共に95%を超えていることから、事業の有効性が認められる。

（2）通学路や住宅地周辺の安全・安心を確保するための里山林整備

- ・通学時の児童生徒及び住宅地周辺での安全・安心が向上したと思う人が共に80%に及んだことから、事業の有効性が認められる。

（3）野生獣被害軽減のための里山林整備

- ・イノシシなどの野生獣の出没が減った（減りそうだ）と思う人、イノシシなどの野生獣による農業被害が減った（減りそうだ）と思う人が共に80%を超えていることから、事業の有効性が認められる。

2 効率性

- ・同様の整備を実施している他県と比較すると、1ha当たりの整備費は本県の方が安価となっており、効率性は確保されている。

なお、「通学路等の安全・安心を確保するための里山林整備事業」と「野生獣被害軽減のため里山林整備事業」については、不要木の除去を実施し、より明るい里山林にするため、平成22年度から整備単価の上限を250千円/haとした。

3 進捗よく度

- ・計画面積579haに対し、638haを整備した。

<p>平成22年度事業の成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「通学路等の安全・安心を確保するための里山林整備」は計画面積を下回ったものの「将来まで守り育てるとちぎの里山林整備」及び、「野生動物被害軽減のための里山林整備」については、共に計画面積を上回ることができ、里山林の持つ公益的機能の向上や通学路等の安全安心、野生動物被害の軽減が図られた。 ・アンケート結果によると里山林を地域全体で保全していこうと思っている人の割合が、3事業とも85%を超えており、地域住民が森の大切さに気づき、地域全体で里山林を保全する気運の高まりが見られた。
<p>今後に向けた課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果では地域全体で里山林を保全する気運の高まりが見られるものの、「通学路等の安全・安心を確保するための里山林整備」はすべての項目についてわからないと思う人が10%程度いる。里山林を将来にわたり適正に維持していくためには、若い人たちを始め、地域住民が意欲をもって継続的に管理していくことが重要であることから、地域に対する適切な助言や周知活動が必要である。
<p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進ちょくしているものと認められる。

【森を育む人づくり】

3. 元気な森を育む木の良さ普及啓発事業

■事業の内容・実績

- ・奥山林整備事業で発生した間伐材を活用し、小中学校に木製学習用机・椅子、県民利用施設に木製ベンチを配布する。

・平成22年度実績

配布数	木製学習用机・椅子	2,000セット	(12市町 35校)
	木製ベンチ	500セット	(全市町 245施設)
決算額	61,644千円		

■評価 (資料p62～63参照)

1 有効性

[アンケート調査]

(1) 木製学習用机・椅子

- ・全ての児童・生徒に対して、本事業の趣旨を説明したこと及び、県内の森林を健全に育てるために、今後、栃木県の木を利用したいと思う人が100%に達したことなどから、事業の有効性が認められる。

(2) 木製ベンチ

- ・ほとんどの設置箇所にて、パンフレット等の普及活動に取り組んでいること及び、ほとんどの設置先事業者が県内の森林を健全に育てるために、今後、栃木県の木を利用したいと思っていることから、事業の有効性が認められる。

2 効率性

(1) 木製学習用机・椅子

- ・前年度における1セット当たりの事業費と比較すると、約1割の単価上昇がみられたが、県内で取引されている机の材料費の価格が、同時期でほぼ同程度の上昇がみられていることから、1セット当たりの事業費の単価上昇は妥当であり、概ね効率性は確保されている。

(2) 木製ベンチ

- ・類似事業に取り組んでいる他県と比較すると、1セット当たりの事業費は安価となっており、効率性は確保されている。
なお、森づくり県民税により奥山林間伐材を活用して、ベンチを製作・配布している県は本県だけであった(平成21年度実績)。

3 進ちょく度

(1) 木製学習用机・椅子

- ・計画どおり2,000セットを配布した。

(2) 木製ベンチ

- ・計画どおり500セットを配布した。

<p>平成22年度事業の成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習用机・椅子は、森林整備の必要性等の理解・促進について県教育委員会及び市町教育委員会と連携して取り組んだ結果、児童・生徒へより一層、理解促進が図られた。 ・木製ベンチは、民間事業者や公共交通機関等にも配布することによって、より一層県民税等の普及啓発活動に広がりを持たせることが出来た。
<p>今後に向けた課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・木材を使用することが、健全な森林の維持に必要であることの理解促進のため、PR効果にも配慮し、継続して事業を実施する必要がある。
<p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進ちょくしているものと認められる。

【森を育む人づくり】

4. とちぎ森づくり情報センター事業

■事業の内容・実績

- ・ “とちぎの森づくり” ホームページの運営や、森づくり活動のサポートなどを行う。

・ 平成22年度実績
決算額 8,489千円

■評価 (資料p64参照)

1 有効性

〔アンケート調査〕

- ・ このホームページの利用により活動しやすくなったと考える人が約4割に止まり、どちらでもないという人が約5割となっている。また、役立っていると考えの人が6割で、どちらでもない、役立たないが約4割を占めている。一方、会員の8割が、このホームページが出来てよかったと考え、これからも森づくり活動に取り組みたいと思っていることから、事業の有効性が一定程度認められる。

2 効率性

- ・ 類似事業に取り組んでいる他県と比較すると、1アクセス当たりの事業費は安価となっており、効率性は確保されている。

3 進捗よく度

- ・ 初年度である平成21年度が100人で、翌年度以降50人ずつ増加する計画である。計画数を下回っているが、平成22年度は新たに57人増加したことから、増加数においては計画を上回った。

平成22年度事業の成果	・ 「とちぎ森づくり情報センター」の運営により、県民の森づくり活動をサポートするものである。平成22年度事業については、アンケート結果のとおり有効性が認められ、効率性も確保されていることから、県民の森づくり活動への参加促進が図れた。
今後に向けた課題	・ 森づくり活動への参加募集や活動事例の紹介等、ホームページの情報の充実を図る必要がある。また、引き続き、森づくり情報センターやホームページの周知を図る必要がある。
評価	・ 当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進捗よくしているものと認められる。 ・ ただし、ホームページ「とちぎの森づくり」の内容の充実を図り、広く周知を図る必要があり、具体策について検討を行うこと。

【森を育む人づくり】

5. とちぎ「森の楽校(がっこう)」事業

■事業の内容・実績

- ・森林に親しんだり、森づくり活動を行う人材の育成を図る体験講座を開催したり、子どもたちの森づくり体験活動や指導者研修を行う。

・平成22年度実績
決算額 9,003千円

■評価 (資料p65～66参照)

1 有効性

[アンケート調査]

- (1) 「森とのふれあい講座」「森づくり講座」「グリーンスタッフ養成講座」参加者
・参加者の9割以上が、この講座が今後の森づくり活動に役立つと感じており、今後も森づくり活動や森の大切さの普及活動に取り組みたいと考えていることから、事業の有効性が認められる。
- (2) 「森の体験活動実施」による助成団体(学校)の担当教諭及び指導者研修参加者
・参加者の9割以上がこの事業を子どもたちに役立つ取組と感じ、今後も森林環境学習に取り組みたいと思っていることから、事業の有効性が認められる。
- (3) 「森の子サミット(緑の少年団等の交流による森林体験活動)参加者
・参加者の9割以上が、このイベントに参加して森林について理解できたと感じており、今後も参加したいと思う人が89%に達したことから、事業の有効性が認められる。

2 効率性

- ・類似事業に取り組んでいる他県と比較すると、参加者1人当たりの事業費は安価となっており、効率性は確保されている。

3 進ちょく度

- ・計画どおり体験講座を20回実施し、計画を上回る21団体に支援を行った。

平成22年度事業の成果	・県民の森林の大切さ等に対する理解を促進し、県民参加の森づくり活動を推進することを目的に各種講座や研修等を実施するものである。平成22年度事業については、アンケート結果のとおり有効性が認められ、県民の森づくり活動等の参加促進が図れた。
今後に向けた課題	・本事業についての周知をさらに図るとともに、講座の内容について工夫を図ることより多くの県民の参加を促進する必要がある。
評価	・当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進ちょくしているものと認められる。

【森を育む人づくり】

6. とちぎの元気な森づくり県民会議事業

■事業の内容・実績

- ・ “とちぎの元気な森づくり” の推進母体である「とちぎの元気な森づくり県民会議」において、森づくり体験活動など、森や木に親しみ、森を知る身近な活動を行う。

・平成22年度実績
決算額 7,607千円

■評価 (資料p67参照)

◇木の教育資材開発提供事業

1 有効性

〔アンケート調査〕

(1) 児童

- ・児童の約9割が、ほかにも木を使って工作したり、木でできたものを使いたいと思うと回答していることから、事業の有効性が認められる。

(2) 教諭

- ・回答した全ての教諭が、木の良さや木を使うことの大切さについて、子どもたちの理解は深まったと感じていることなどから、事業の有効性が認められる。

2 効率性

- ・資材1セット当たりの事業費は前年度と比較するとやや高いが、概ね効率性は確保されている。

3 進捗よく度

- ・計画どおり、1,300セットを配布した。

平成22年度事業の成果	・子どもたちに木にふれあう機会を創出することによって、森林の大切さや森林整備の必要性について理解促進を図るため、小学校に木工工作の教材を配布し、木づかいスタッフ等の指導のもと木工体験活動に取り組んだ結果、木の良さや木を使うことの大切さについて理解が深まった。
今後に向けた課題	・より多くの児童に、木の良さや木を使うことの大切さを啓発するため、多くの小学校で取り組まれるよう、継続して事業を実施する必要がある。
評価	・当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進捗よくしているものと認められる。

【森を育む人づくり】

7. とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会事業

■事業の内容・実績

- ・事業の執行状況や効果等について検証・評価を行うとともに、事業の推進に必要な事項を検討する。

・平成22年度実績
決算額 526千円

■評価 (資料p68参照)

1 有効性

- ・平成21年度のとちぎの元気な森づくり県民税事業の評価を行い、改善すべき点について報告書にとりまとめ県に提出した。それを受けて以下の点において改善が図られた。
 - 日光杉並木保護木柵資材などに奥山林間伐材を活用できるよう事業を拡充 (H23～)
 - 公共施設の木造・木質化など、市町の要望に応じ、事業に使用する木材に奥山林間伐材を利用できるよう事業を拡充 (H23～)
 - 市町の独自性を重視し、木製学習用机・椅子及び木製ベンチ整備の一部を交付金化 (H23～)

2 効率性

- ・委員数や開催回数が近い他県と比較すると、委員会1回当たりの事業費は安価となっており、効率性は確保されている。

3 進ちょく度

- ・平成21年度に実施した税事業の評価を行った。

○評価委員会開催等経過

H22. 6. 14 第1回評価委員会：現地調査実施 宇都宮市、那須塩原市、大田原市
H22. 7. 26 第2回評価委員会：平成21年度事業の評価
H22. 8. 31 第3回評価委員会：平成21年度事業評価報告書等
H22. 9. 14 評価報告書の提出・公表
H22. 12. 16 第4回評価委員会：現地調査実施 那須町、那須塩原市
H23. 3. 17 第5回評価委員会：平成22年度事業の評価手法等 ※震災の影響により延期

平成22年度事業の成果	・平成21年度事業の評価を行い、その結果を公表した。 ・平成21年度事業の評価を受け、奥山林間伐材の一層の活用を促進するため、平成23年度から事業の拡充が図られた。
今後に向けた課題	・事業の検証・評価を通して明らかになった課題などを次年度以降の事業に生かしていく。
評価	・当該事業は、概ね効果的、効率的に実施され、適正な運営が行われた。

【森を育む人づくり】

8. とちぎの元気な森づくり県民広報事業

■事業の内容・実績

- ・ “とちぎの元気な森づくり” の趣旨や事業内容等について広報活動を行う。

・平成22年度実績
決算額 9,342千円

■評価 (資料p68参照)

1 有効性

[アンケート調査]

- ・税の認知度について、少なくとも名称は知っているという回答者が、評価を実施した3カ年を通して全体の7割前後で推移しており、一定の事業の有効性が認められる。
※ただし、アンケート調査の回答者は県の環境森林に関係するイベントの来場者が主であることから、環境・森林分野に対する意識が比較的高い方が多いものと推測される。

2 効率性

- ・本県と納税義務者数及び税による事業費が近い他県と比較すると、本県の方が納税義務者1人当たりの事業費が高くなっている。これは本県においては、比較県で実施していないテレビ・ラジオ広告を実施していることが主な要因と考えられる。

3 進ちょく度

- ・パンフレット作成58,000部、テレビ・ラジオ206回、税事業実施箇所バスツアー3回と、ほぼ計画どおり実施したことに加え、税事業実施箇所に設置するのぼり旗を作成した。

平成22年度事業の成果	・イベント等でのパンフレット配布やテレビ・ラジオ等の広報を通じて、とちぎの元気な森づくり県民税の趣旨や事業内容等の県民理解の促進を図り、一定の成果を維持している。
今後に向けた課題	・県民の認知度の更なる向上を図るため、税事業で実施していることの表記をより目立つよう工夫していくとともに、普及啓発用DVDなどを活用することにより、税に対する県民の理解促進に努めていく。
評価	・当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進ちょくしているものと認められる。

【森を育む人づくり】

9. 森づくり活動地域支援事業

■事業の内容・実績

- ・市や町が行う、住民やボランティアを対象とした森づくり活動、子どもたちの森林環境学習などを支援する。

・平成22年度実績
決算額 11,759千円

■評価 (資料p69参照)

1 有効性

[アンケート調査]

- ・実施した市町の9割以上が、この事業が森づくり行政や森林環境教育行政に役立ち、今後この事業を積極的に活用すると考え、とちぎの元気な森づくり県民税でこの事業が行われたことはよかったと回答していることから、事業の有効性が認められる。

2 効率性

- ・類似事業に取り組んでいる他県と比較すると、事業を実施した1団体当たりの事業費は安価となっており、効率性は確保されている。

3 進ちょく度

- ・計画どおり、19市町で実施した。

平成22年度事業の成果	・アンケート調査では、9割以上の市町が事業の有効性について評価しており、森林の大切さへの理解促進が図られた。
今後に向けた課題	・事業の内容や対象経費の周知に努め、実施市町数の拡大を図る必要がある。
評価	・当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進ちょくしているものと認められる。

【森を育む人づくり】

10. 木の香る環境づくり支援事業

■事業の内容・実績

- ・市や町が行う公共施設等の木造・木質化や地域における木の良さ普及啓発活動などを支援する。

・平成22年度実績
決算額 29,209千円

■評価 (資料p70参照)

1 有効性

[アンケート調査]

- ・すべての市町が、この事業が環境森林行政に役立ったとの回答を得ていることから、事業の有効性が認められる。

2 効率性

- ・施設整備事業については、木材1m³あたりの事業費が前年度実績と比較すると安価となっており、効率性は確保されている。
- ・木の良さ普及啓発事業については、参加者1人当たりの事業費は前年度と同額であり、効率性は確保されている。

3 進ちょく度

- ・計画どおり、木の良さ普及啓発活動111回などを実施した。

平成22年度事業の成果	・木を使い、木に触れることを通じて森林整備の必要性について理解促進を図るため、18市町に対して施設整備事業（木造・木質化）、間伐材有効利用事業及び木の良さ普及啓発事業の支援を行った結果、木材の利用が森林保全に果たす役割の重要性について理解が深まった。
今後に向けた課題	・木材の利用が森林保全に果たす役割の重要性について、より一層の理解促進が図られるよう、今後も事業を継続していく必要がある。
評価	・当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進ちょくしているものと認められる。

【森を育む人づくり】

1 1. 特色ある緑豊かな地域推進事業

■事業の内容・実績

- ・広域的な森づくり活動など、地域の創意工夫を凝らした特色ある取組を支援する。

・平成22年度実績
決算額 2,899千円

■評価 (資料p71参照)

1 有効性

[アンケート調査]

- ・参加者の9割以上が、この活動により森づくりについての理解が深まり、今後の森づくり活動に役立つと考え、「とちぎの元気な森づくり県民税」により行われてよかったと回答していることから、事業の有効性が認められる。

2 効率性

- ・類似事業に取り組んでいる他県と比較すると、参加者1人当たりの事業費は安価となっており、効率性は確保されている。

3 進捗よく度

- ・計画どおり、3市町で実施した。

平成22年度事業の成果	・アンケート調査では、参加者の9割が事業の有効性について評価しており、地域住民や都市住民などが共に参加する森づくりが促進されるとともに、森づくりや身近なみどりを守り育てることの大切さについて理解が深まった。
今後に向けた課題	・事業の採択にあたっては、税の趣旨に照らしながら、今後とも慎重な審査が必要であるが、県内の多くの市町で取り組まれるよう事業制度の普及に努める必要がある。
評価	・当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進捗よくしているものと認められる。

(資 料)

【元気な森づくり】

1. とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業

1 有効性

(1) 間伐：便益計算

便益区分	評価額 (千円) A	整備面積 (ha) B	ha当たり評価額 (千円/ha) A/B	備考
○洪水防止便益	2,002,272	3,302	606	整備による降雨流出量減少分を治山ダムで機能代替させる場合のコスト
○水質浄化便益	1,108,958		336	整備による土壌内浸透降雨増加量を施設により浄化する場合のコスト
○土砂流出防止便益	2,228,392		675	整備による低減される土砂流出量を保全する砂防ダム建設コスト
計	5,339,622	3,302	1,617	

※評価額は「林野公共事業における事前評価マニュアル」に基づき算出

(2) 獣害対策：アンケート調査

アンケート調査の概要	
【対象及び実施数】	野生獣による剥皮被害を防止する対策を実施した森林の所有者 95名
【実施時期】	平成23年5～6月
【調査結果】 アンケート対象 93人	
1 今回実施した獣害対策により、森林の被害状況はどう変化しましたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・防止資材を設置した樹木： 「被害なし」88%、 「被害あり」6%（被害率0.5～20%） ・防止資材未設置の樹木： 「被害なし」45% 「被害あり」48%（被害率0.5～40%）
2 獣害対策の実施によって、野生獣による森林被害は減ると思いますか。	「非常に減ると思う」72%、「少し減ると思う」26%、「あまり減るとは思わない」0%、「わからない」2%
3 今後獣害対策を実施した森林を適切に管理していこうと思いますか。	「そう思う」79%、「ある程度思う」17%、「思わない」0%、「わからない」4%
4 とちぎの元気な森づくり県民税により、奥山林の獣害対策が実施されて良かったと思いますか。	「とても良かった」76%、「良かった」22%、「良くなかった」10%、「わからない」2%

(3) 森林バイオマス利用モデル：CO₂削減量計算・アンケート調査

① CO₂削減量計算

利用区分	計算式	CO ₂ 削減量 (t-CO ₂)
ペレット利用材 (灯油の代替)	木質ペレット使用量 × 熱量比 × 発熱量 × CO ₂ 排出係数 × ボイラー効率比 107.64 × 1.0 × 20 × 0.0679 × 1.0	146
発電用に利用 (石炭の代替)	間伐材等使用量 × (1-含水率/100) × 発熱量 × CO ₂ 排出係数 × ボイラー効率比 83.28 × (1-50/100) × 20 × 0.0913 × 1.0	76
ボイラ熱源用材 (A重油の代替)	間伐材等使用量 × (1-含水率/100) × 発熱量 × CO ₂ 排出係数 × ボイラー効率比 174.40 × (1-50/100) × 20 × 0.0693 × 1.0	121
計		343

※利用した森林バイオマス資源をすべて電力の代替と仮定した場合、約240,000kwh分を発電、一般的な家庭65戸での年間電力消費量に相当。

② 今後の森林管理に対するアンケート調査

アンケート調査の概要	
【対象及び実施数】	森林バイオマス利用モデルを実施した森林整備事業体及び実施箇所の森林所有者 18人
【実施時期】	平成23年7月
【調査結果】 アンケート対象 18人	
森林所有者	・林地残材が片付き、路網も開設されているため、次回整備(間伐)の作業効率の向上が期待でき、健全な森林管理に努めたい。 ・搬出路が整備され、管理し易くなり山に行く機会が増えた。今回の事業が続くのであれば、また取り組みたい。
森林整備事業体	・長期的な森林管理をするにあたり、路網の整備や林内に残材が無いことは災害に強い森林となることから、この事業に取り組んでいきたい。

2 効率性

区 分	整備計画 面積(ha) A	予算額 (千円) B	整備実績 面積(ha) C	決算額 (千円) D	効率性 (千円/ha) D/C
国庫補助活用事業	2,467	485,500	2,926	501,425	171
森づくり県民税単独事業	360	63,000	376	58,644	156
事業推進費		61,356		61,697	
間伐実施 計	2,827	609,856	3,302	621,766	188
獣害対策	240	103,680	320	103,680	324
森林バイオマス利用モデル	36	6,264	37	4,234	114

※国庫補助活用事業及び整備事業合計の予算額及び決算額は、国庫補助金を含む。

[効率性に関する比較検討]

(1)間伐

比較県	効率性	特 記 事 項
栃木県	188 (千円/ha)	【整備内容】 ・本数率で概ね35%の間伐を実施 ・必要に応じ林内整理 【事業対象経費】 ・①森林現況調査 ②間伐 ③事業実施に必要な歩道整備
A県	305 (千円/ha)	【整備内容】 ・本数率で概ね30%の間伐を実施 ・間伐木については、対象区域内集積 【事業対象経費】 ・①森林現況調査 ②間伐 ③事業実施に必要な歩道整備
B県	336 (千円/ha)	【整備内容】 ・本数率40%以上の間伐実施のうえ区域内全数集積 ・間伐の実施に必要な作業路の開設 【事業対象経費】 ・①森林現況調査 ②間伐 ③事業実施に必要な作業路整備

(2)獣害対策

比較県	効率性	特 記 事 項
栃木県	324 (千円/ha)	【整備内容】 ・1haあたり600本以上の獣害対策資材の設置 【事業対象経費】 ・獣害対策資材(ネット)の設置経費
C県	168 (千円/ha)	【整備内容】 ・1haあたり500本以上の獣害対策資材の設置 (設置本数に応じた4区分の単価設定) 【事業対象経費】 ・獣害対策資材(ネット)購入に対する経費

(3) 森林バイオマス利用モデル

比較県	効率性	特記事項
栃木県	114 (千円/ha)	【整備内容】 ・ 税事業伐り捨て間伐木の玉切り・集材 【事業対象経費】 ・ 間伐材の玉切り、集材、利用促進路整備に対する経費
D県	144 (千円/ha)	【整備内容】 ・ 低質材の搬出 【事業対象経費】 ・ 造林事業により30m ³ /ha程度の搬出のほか、30m ³ /haの低質材を併せて60m ³ /haの搬出があった場合に補助 (補助額については、CO ₂ 固定効果としての額)

3 進捗度

区 分	整備計画 面積(ha) A	予算額 (千円) B	整備実績 面積(ha) C	決算額 (千円) D	進捗度 (%) C/A	予算執行率 (%) D/B
国庫補助活用事業	2,467	485,500	2,926	501,425	118.6	103.3
森づくり県民税単独事業	360	63,000	376	58,644	104.4	93.1
事業推進費		61,356		61,697		100.6
獣害対策	240	103,680	320	103,680	133.3	100.0
森林バイオマス利用モデル	36	6,264	37	4,234	102.8	67.6

平成22年度奥山林整備事業一覧【国庫補助活用事業】

No.	所在地	事業期間	樹種	林齢 (年生)	間伐率 (%)	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円) B/A	特記事項
【鹿沼市】									
1	鹿沼市西大芦1	H22.9.13 ~ H23.1.21	スギ・ヒノキ	22~60	20~35	43.56	9,794	225	
2	鹿沼市西大芦2	H23.1.5 ~ H23.3.22	スギ・ヒノキ	28~60	20~35	46.38	6,726	145	
3	鹿沼市加蘇1	H22.10.19 ~ H23.1.14	スギ・ヒノキ	16~56	20~35	33.39	6,085	182	
4	鹿沼市加蘇2	H22.12.7 ~ H23.3.17	スギ・ヒノキ	16~60	20~35	41.50	7,463	180	
5	鹿沼市南摩1	H22.8.20 ~ H22.12.24	スギ・ヒノキ	21~60	25~35	81.00	15,359	190	
6	鹿沼市南摩2	H22.12.20 ~ H23.3.18	スギ・ヒノキ	23~58	25~35	41.38	5,803	140	
7	鹿沼市南摩3	H23.1.6 ~ H23.3.25	スギ・ヒノキ	18~58	20~35	87.97	13,718	156	
8	鹿沼市板荷	H23.1.5 ~ H23.3.22	スギ・ヒノキ	34~59	20~35	60.98	7,672	126	
9	鹿沼市粟野1	H22.10.19 ~ H23.1.14	スギ・ヒノキ	16~58	20~35	30.47	5,891	193	
10	鹿沼市永野1	H22.12.6 ~ H23.2.18	スギ・ヒノキ	20~59	20~35	29.10	5,205	179	
11	鹿沼市永野2	H22.12.27 ~ H23.3.18	スギ・ヒノキ	16~59	20~35	36.60	6,519	178	
12	鹿沼市粕尾1	H22.11.11 ~ H23.1.31	スギ・ヒノキ	16~57	20~35	24.27	4,473	184	
13	鹿沼市粕尾2	H22.12.27 ~ H23.3.18	スギ・ヒノキ	21~60	20~35	56.22	9,844	175	
14	鹿沼市清洲1	H22.12.27 ~ H23.3.16	スギ・ヒノキ	18~60	20~30	36.46	6,610	181	
15	鹿沼市清洲2	H22.12.27 ~ H23.3.22	スギ・ヒノキ	24~59	20~35	58.08	10,382	179	
16	鹿沼市粟野・粕尾	H23.1.11 ~ H23.3.25	スギ・ヒノキ	19~57	20~35	67.51	12,219	181	
小計						774.87	133,763	173	
【日光市】									
1	日光市足尾1	H22.10.7 ~ H23.1.11	スギ・ヒノキ	16~59	20~35	39.81	6,857	172	
2	日光市日光1	H22.10.7 ~ H23.1.20	スギ・ヒノキ	22~60	20~35	53.42	7,214	135	
3	日光市日光2	H22.10.7 ~ H23.1.11	スギ・ヒノキ	17~60	20~35	48.73	7,445	153	
4	日光市日光3	H22.11.29 ~ H23.3.10	スギ・ヒノキ	19~60	20~35	40.03	6,185	155	
5	日光市日光4	H22.12.27 ~ H23.3.18	スギ・ヒノキ	16~60	20~35	46.99	6,615	141	
6	日光市日光5	H23.1.12 ~ H23.3.25	スギ・ヒノキ	25~59	20~35	53.14	7,350	138	
7	日光市豊岡2	H22.10.28 ~ H23.3.28	スギ・ヒノキ	16~60	20~35	71.29	11,437	160	【抽出箇所①】
8	日光市今市・大沢2	H22.11.15 ~ H23.4.21	スギ・ヒノキ	16~59	20~35	65.36	8,099	124	
9	日光市栗山4	H22.12.20 ~ H23.4.21	スギ・ヒノキ	21~60	20~35	19.01	2,738	144	
10	日光市落合	H23.1.12 ~ H23.2.28	スギ・ヒノキ	16~60	20~35	33.35	3,747	112	
小計						471.13	67,687	144	

平成22年度奥山林整備事業一覧【国庫補助活用事業】

No.	所在地	事業期間	樹種	林齢 (年生)	間伐率 (%)	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円) B/A	特記事項
【宇都宮市】									
1	宇都宮市金堀外	H22.12.24 ~ H23.3.18	スギ・ヒノキ	17~35	22~35	21.55	3,475	161	
2	宇都宮市シドミ久保	H22.12.27 ~ H23.2.28	スギ・ヒノキ	34	30	3.01	481	160	
小計						24.56	3,956	161	
【市貝町】									
1	市貝町大峰外	H22.12.28 ~ H23.3.25	スギ・ヒノキ	31~32	25	1.09	150	138	
【益子町】									
1	益子町向山外	H22.10.5 ~ H23.1.7	スギ・ヒノキ	17~34	33~35	24.65	5,639	229	【抽出箇所②】
【茂木町】									
1	茂木町焼森外	H22.9.9 ~ H22.12.10	スギ・ヒノキ	22~60	20~34	54.36	7,371	136	
2	茂木町狸へら台	H22.11.2 ~ H23.1.7	スギ・ヒノキ	24~27	30	0.33	42	127	
3	西ノ内外	H22.12.28 ~ H23.3.18	スギ・ヒノキ	16~60	22~33	25.31	3,391	134	
4	茂木町大峰外	H22.12.28 ~ H23.3.25	スギ・ヒノキ	16~36	20~25	41.70	5,817	139	
小計						121.70	16,621	137	

平成22年度奥山林整備事業一覧【国庫補助活用事業】

No.	所在地	事業期間	樹種	林齢 (年生)	間伐率 (%)	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円) B/A	特記事項
【大田原市】									
1	大田原市黒羽1	H22.9.30 ~ H23.1.31	スギ・ヒノキ	16~60	27~35	55.21	8,852	160	【抽出箇所③】
2	大田原市両郷1	H22.12.14 ~ H23.3.31	スギ・ヒノキ	16~59	27~35	38.85	6,138	158	
3	大田原市両郷2	H22.12.22 ~ H23.3.31	スギ・ヒノキ	16~58	27~35	40.45	6,960	172	
4	大田原市須賀川	H22.12.22 ~ H23.3.31	スギ・ヒノキ	16~57	27~35	48.06	8,128	169	
小計						182.57	30,078	165	
【那須塩原市】									
1	那須塩原市高林1	H22.10.1 ~ H23.2.15	スギ・ヒノキ	16~60	35	57.06	9,324	163	
2	那須塩原市高林2	H22.12.24 ~ H23.3.25	スギ・ヒノキ	16~60	35	49.44	8,694	176	
3	那須塩原市箒根1	H22.12.28 ~ H23.3.25	スギ・ヒノキ	16~38	30	16.63	3,056	184	
小計						123.13	21,074	171	
【那須烏山市】									
1	那須烏山市那須烏山1	H22.12.20 ~ H23.3.25	スギ・ヒノキ	16~51	35	37.77	6,143	163	
【那須町】									
1	那須町那須1	H22.9.17 ~ H23.1.31	スギ・ヒノキ	19~56	35	77.34	17,378	225	
2	那須町伊王野1	H22.9.30 ~ H23.2.15	スギ・ヒノキ	16~54	35	74.31	16,559	223	
3	那須町芦野1	H22.12.22 ~ H23.3.31	スギ・ヒノキ	16~60	35	21.50	4,374	203	
4	那須町芦野2	H22.12.22 ~ H23.3.31	スギ・ヒノキ	20~59	35	36.58	6,628	181	
小計						209.73	44,939	214	
【那珂川町】									
1	那珂川町大山田1	H22.9.30 ~ H23.1.31	スギ・ヒノキ	16~59	35	60.85	11,298	186	
2	那珂川町大内	H22.12.22 ~ H23.3.25	スギ・ヒノキ	16~54	35	70.80	12,620	178	
小計						131.65	23,918	182	

平成22年度奥山林整備事業一覧【国庫補助活用事業】

No.	所在地	事業期間	樹種	林齢 (年生)	間伐率 (%)	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円) B/A	特記事項
【足利市】									
1	足利市反田	H22.8.23 ~ H22.10.20	スギ・ヒノキ	21~60	22~34	11.03	1,153	105	【抽出箇所④】
【佐野市】									
1	佐野市大戸	H22.8.24 ~ H22.11.19	スギ・ヒノキ	20~58	28~35	40.86	7,760	190	
2	佐野市深堀沢	H22.12.1 ~ H23.2.18	スギ・ヒノキ	19~60	30~35	32.14	6,226	194	
3	佐野市野上1	H22.12.10 ~ H23.3.22	スギ・ヒノキ	16~59	25~35	55.54	10,198	184	
4	佐野市岩沢	H22.11.8 ~ H23.1.11	スギ・ヒノキ	50	30	6.08	756	124	
5	佐野市大倉沢	H23.1.5 ~ H23.3.25	スギ・ヒノキ	16~60	23~33	98.68	16,376	166	
6	佐野市野上2	H23.1.6 ~ H23.3.25	スギ・ヒノキ	19~60	29~35	55.11	10,177	185	
7	佐野市清水帰	H22.12.28 ~ H23.3.18	スギ・ヒノキ	28~60	24~25	46.88	6,321	135	
8	佐野市岩沢2	H23.1.6 ~ H23.3.25	スギ・ヒノキ	31~56	23~34	28.48	4,853	170	
小計						363.77	62,667	172	
【矢板市】									
1	矢板市矢板1	H22.10.12 ~ H22.12.10	スギ・ヒノキ	16~53	20~35	23.18	4,788	207	
2	矢板市矢板2	H22.11.11 ~ H23.1.20	スギ・ヒノキ	16~44	35	37.06	9,345	252	
小計						60.24	14,133	235	
【さくら市】									
1	さくら・高根沢	H22.12.22 ~ H23.3.10	スギ・ヒノキ	16~35	35	26.71	4,820	180	
【塩谷町】									
1	塩谷町船生1	H22.7.5 ~ H22.8.27	スギ・ヒノキ	25~57	35	17.78	3,780	213	
2	塩谷町船生2	H22.8.6 ~ H22.9.3	スギ・ヒノキ	29~53	35	5.70	1,374	241	
3	塩谷町船生3	H22.12.22 ~ H23.2.28	スギ・ヒノキ	17~59	35	20.70	4,127	199	
4	塩谷町玉生1	H22.12.9 ~ H23.2.10	スギ・ヒノキ	26~60	35	22.03	4,222	192	【抽出箇所⑤】
5	塩谷町大宮	H23.1.11 ~ H23.3.22	スギ・ヒノキ	16~60	35	28.82	5,554	193	
小計						95.03	19,057	201	
【その他】									
1	事務費						1,201		職員旅費、消耗品費
県合計(a)						2,659.63	456,999	172	
事業計画(b)						2,467.00	485,500	197	
進捗度(a)／(b) %						108%	94%		

平成21年度繰越・奥山林整備事業一覧【国庫補助活用事業】

No.	所在地	事業期間	樹種	林齢 (年生)	間伐率 (%)	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円) B/A	特記事項
【鹿沼市】									
1	鹿沼市永野3	H22.3.17 ~ H22.6.25	スギ・ヒノキ	16~59	20~35	23.06	3,759	163	
2	鹿沼市加蘇4	H22.3.26 ~ H22.6.30	スギ・ヒノキ	24~60	20~35	44.31	6,825	154	
小計						67.37	10,584	157	
【西方町】									
1	真名子2	H22.3.17 ~ H22.6.25	スギ・ヒノキ	30~58	20~35	25.62	4,169	163	
【日光市】									
1	栗山3	H22.3.30 ~ H22.6.30	スギ・ヒノキ	30~60	20~35	25.93	3,517	136	
2	大沢1	H22.3.30 ~ H22.6.30	スギ・ヒノキ	25~60	20~35	25.57	2,783	109	
小計						51.50	6,300	122	
【茂木町】									
1	立山入外	H22.3.29 ~ H22.6.28	スギ・ヒノキ	18~60	22~34	15.24	2,635	173	
【大田原市】									
1	大田原市黒羽2	H22.3.29 ~ H22.9.17	スギ・ヒノキ	26~56	28~35	21.07	3,780	179	
【那須烏山市】									
1	那珂川烏山	H22.3.30 ~ H22.6.30	スギ・ヒノキ	17~35	30~35	5.23	937	179	
【那須町】									
1	那須町芦野2	H22.3.29 ~ H22.6.25	スギ・ヒノキ	16~57	35	21.59	5,880	272	
【那珂川町】									
1	那珂川烏山	H22.3.30 ~ H22.6.30	スギ・ヒノキ	22~35	30~35	15.00	2,686	179	
【佐野市】									
1	佐野市南沢外	H22.3.29 ~ H22.6.11	スギ・ヒノキ	17~57	23~35	44.34	7,455	168	
【その他】									
1	事務費								職員旅費、消耗品費
県合計(a)						266.96	44,426	166	
事業計画(b)						266.96	44,426	166	
進捗度(a)／(b) %						100%	100%		

平成22年度奥山林整備事業一覧【森づくり県民税単独事業】

No.	所在地	事業期間	樹種	林齢 (年生)	間伐率 (%)	整備面積 (ha) A	事業費 (千円)B	効率性 (千円)B/A	特記事項
【鹿沼市】									
1	鹿沼市粕尾外	H22.9.14 ~ H23.1.31	スギ・ヒノキ	37~59	20~35	44.26	5,291	120	
2	鹿沼市西大芦1	H22.9.13 ~ H23.1.21	スギ・ヒノキ	30~51	20~35	2.14	1,487	695	搬出間伐
	小計					46.40	6,778	146	
【日光市】									
1	日光市土呂部	H22.11.4 ~ H23.2.28	スギ・ヒノキ	16~60	35	11.07	1,667	151	
【西方町】									
1	西方町真名子	H22.7.29 ~ H22.11.30	スギ・ヒノキ	37~56	35	20.04	3,001	150	
2	西方町真上	H22.9.14 ~ H23.1.6	スギ・ヒノキ	38~60	20~35	13.00	1,690	130	
	小計					33.04	4,691	142	
【宇都宮市】									
1	宇都宮市国本外	H22.10.13 ~ H23.2.28	スギ・ヒノキ	35~60	20~35	22.08	3,446	156	
【茂木町】									
1	茂木町茂木外	H22.11.5 ~ H23.2.28	スギ・ヒノキ	36~60	20~35	35.62	5,280	148	
2	茂木町狸へら台	H22.11.2 ~ H23.1.7	ヒノキ	43	33	0.67	926	1,382	搬出間伐
	小計					36.29	6,206	171	
【大田原市】									
1	大田原市黒羽外	H22.10.14 ~ H23.2.28	スギ・ヒノキ	36~60	20~35	60.90	6,381	105	
2	大田原市北野上	H22.8.20 ~ H22.10.29	スギ・ヒノキ	47~60	25~30	1.58	1,523	964	搬出間伐
	小計					62.48	7,904	127	
【那須塩原市】									
1	那須塩原市深山外	H22.7.28 ~ H22.11.30	スギ・ヒノキ	44~57	20~35	17.91	1,724	96	
【那須烏山市】									
1	那須烏山市大木須外	H22.11.4 ~ H23.2.28	スギ・ヒノキ	25~52	20~35	12.47	1,501	120	
【那須町】									
1	那須町伊王野外	H22.10.14 ~ H23.2.28	スギ・ヒノキ	36~59	35	31.08	4,780	154	
【那珂川町】									
1	那珂川町大山田外	H22.10.14 ~ H23.2.28	スギ・ヒノキ	36~59	20~35	20.81	2,657	128	
2	那珂川町浄法寺	H22.11.12 ~ H23.2.18	ヒノキ	56	35	3.00	1,225	408	搬出間伐
	小計					23.81	3,882	163	

平成22年度奥山林整備事業一覧【森づくり県民税単独事業】

No.	所在地	事業期間	樹種	林齢 (年生)	間伐率 (%)	整備面積 (ha) A	事業費 (千円)B	効率性 (千円)B/A	特記事項
【足利市】									
1	足利市松田外	H22.11.4 ~ H23.2.28	スギ・ヒノキ	21~59	20~35	50.98	8,504	167	
【佐野市】									
1	佐野市岩沢	H22.11.8 ~ H23.1.5	スギ・ヒノキ	49~55	30	2.50	1,967	787	搬出間伐
【さくら市】									
1	さくら市下寺島外	H22.11.15 ~ H23.2.28	スギ・ヒノキ	25~60	20~35	23.37	3,224	138	
【高根沢町】									
1	高根沢町北高根沢	H22.12.9 ~ H23.1.14	スギ・ヒノキ	41~56	35	2.37	2,370	1,000	搬出間伐
県合計(a)						375.85	58,644	156	
事業計画(b)						360.00	63,000	175	
進捗度(a)／(b) %						104%	93%		

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所①】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	栃木県	
箇所所在地	日光市 豊岡2	樹種	スギ・ヒノキ	林齢	16～60年生
事業概要	事業内容	間伐 71.29ha	事業の必要性	当計画地は、土砂流出防備保安林等で公益的機能の発揮が高く求められる森林として位置づけられているが、条件等の悪い奥地であるため、15年以上手入れが行われていない。現在は林内にほとんど光が入らず、下草がほとんど見られない状況である。 このため、降雨時の土砂流出や水源涵養機能の低下等が懸念されることから、緊急に間伐を実施し下層植生の回復を図る必要がある。	
		間伐率 20～35%			
	事業費	11,437,650円			
事業の実施状況	【事業着手前】				
			【モニタリング調査】 ○下層植生調査(H22/9月撮影) 		
					
【事業完了後】					
		【モニタリング調査】 ○下層植生調査(H23/7月撮影) 			
		間伐を実施し、林内に光が入るようになってからまだ短い期間ではあるが、下草などの植生が少しずつ回復してきている状況である。			

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所②】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	栃木県	
箇所所在地	益子町 向山外	樹種	スギ・ヒノキ	林齢	17～34年生
事業概要	事業内容	間伐 24.65ha	事業の必要性	当計画地は、水源涵養保安林等で、公益的機能の発揮が高く求められる森林として位置づけられているが、木材価格の低迷等のため、15年以上手入れが行われていない。現在は林内にほとんど光が入らず、下草がほとんど見られない状況にある。 このため、降雨時の土砂流出等が懸念されることから、緊急に間伐を実施し下層植生の回復を図る必要がある。	
		間伐率 33～35%			
	事業費	5,638,500円			
事業の実施状況	【事業着手前】				
			【モニタリング調査】 ○下層植生調査(H22/7月撮影) 		
					
【事業完了後】					
		【モニタリング調査】 ○下層植生調査(H23/8月撮影) 			
		間伐を実施したことにより、林内に光が入るようになり、下草などの植生が回復してきている状況である。			

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所③】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	栃木県	
箇所所在地	大田原市 黒羽1	樹種	スギ・ヒノキ	林齢	16～60年生
事業概要	事業内容	間伐 55.21ha	事業の必要性	当計画地は、水源涵養保安林等で、公益的機能の発揮が高く求められる森林として位置づけられているが、木材価格の低迷等のため、15年以上手入れが行われていない。現在は林内にほとんど光が入らず、下草のない状況である。 このため、降雨時の土砂流出等が懸念されることから、緊急に間伐を実施し下層植生の回復を図る必要がある。	
		間伐率 27～35%			
	事業費	8,851,500円			

【事業着手前】



【モニタリング調査】

○下層植生調査(H22/7月撮影)



事業の実施状況



【事業完了後】



【モニタリング調査】

○下層植生調査(H23/6月撮影)



間伐を実施し、林内に光が入るようになってからまだ短い期間ではあるが、下草などの植生が少しずつ回復してきている状況である。

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所④】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	栃木県	
箇所所在地	足利市 反田	樹種	スギ・ヒノキ	林齢	21～60年生
事業概要	事業内容	間伐 11.03ha	事業の必要性	<p>当計画地は、水源涵養保安林等で、公益的機能の発揮が高く求められる森林として位置づけられているが、木材価格の低迷等のため、15年以上手入れが行われていない。現在は林内にほとんど光が入らず、下草がほとんど見られない状況にある。</p> <p>このため、降雨時の土砂流出等が懸念されることから、緊急に間伐を実施し下層植生の回復を図る必要がある。</p>	
		間伐率 22～34%			
	事業費	1,152,900円			
事業の実施状況	【事業着手前】				
			<p>【モニタリング調査】</p> <p>○下層植生調査(H22/6月撮影)</p> 		
		【事業完了後】			
		<p>【モニタリング調査】</p> <p>○下層植生調査(H23/8月撮影)</p> 			
		<p>間伐を実施し、林内に光が入るようになってからまだ短い期間ではあるが、下草などの植生が少しずつ回復してきている状況である。</p>			

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所⑤】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	栃木県	
箇所所在地	塩谷町 玉生1	樹種	スギ・ヒノキ	林齢	26～60年生
事業概要	事業内容	間伐 22.03ha	事業の必要性	当計画地は、水源涵養保安林等で、公益的機能の発揮が高く求められる森林として位置づけられているが、木材価格の低迷等のため、15年以上手入れが行われていない。現在は林内にほとんど光が入らず、下草がほとんど見られない状況にある。 このため、降雨時の土砂流出等が懸念されることから、緊急に間伐を実施し下層植生の回復を図る必要がある。	
		間伐率 35%			
	事業費	4,222,050円			
事業の実施状況	【事業着手前】				
		 <p>【モニタリング調査】 ○下層植生調査(H22/9月撮影)</p>			
					
	【事業完了後】				
		 <p>【モニタリング調査】 ○下層植生調査(H23/8月撮影)</p> <p>間伐を実施し、林内に光が入るようになってからまだ短い期間ではあるが、下草などの植生が少しずつ回復してきている状況である。</p>			

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【平成21年度抽出箇所①】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	栃木県		
箇所所在地	日光市	日光・豊岡1外	樹種	スギ・ヒノキ	林齢	17～54年生
事業概要	事業内容	間伐 33.38ha	事業の必要性	当計画地は、水源かん養保安林等で公益的機能の発揮が高く求められる森林として位置づけられているが、条件等の悪い奥地であるため、15年以上手入れが行われていない。現在は林内にほとんど陽光が差し込まず、下草のない状況である。 このため、降雨時の土砂流出等が懸念されることから、緊急に間伐を実施し、下草などの植生を回復させる必要がある。		
		間伐率 20～35%				
	事業費	4,861,500円				

事業の実施状況	【事業着手前】		【モニタリング調査】	
	【事業完了後】		○下層植生調査(H21/7月撮影)	○下層植生調査(H22/7月撮影)
	【H23/7月】		○下層植生調査(H23/7月撮影)	
				間伐を実施したことにより、林内に光が入るようになり、下草などの植生が少しずつ回復してきている状況である。

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【平成21年度抽出箇所②】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	栃木県	
箇所所在地	茂木町 吹田谷外	樹種	スギ・ヒノキ	林齢	16～60年生
事業概要	事業内容	間伐 67.86ha	事業の必要性	当計画地は、水源かん養保安林に指定され、公益的機能が強く求められる森林として位置づけられているが、木材価格の低迷等のため、15年以上手入れが行われていない。現在は林内にほとんど陽光が差し込まず、下草などの植生が衰退している状況にある。 このため、降雨時の土砂流出等が懸念されることから、緊急に間伐を実施し、下草などの植生を回復させる必要がある。	
		間伐率 22～34%			
	事業費	10,056,900円			
事業の実施状況	【事業着手前】		【モニタリング調査】		
			○下層植生調査(H21/7月撮影) 		
	【事業完了後】 		○下層植生調査(H22/8月撮影) 		
	【H23/7月】 		○下層植生調査(H23/8月撮影)  間伐を実施したことにより、林内に光が入るようになり、下草などの植生が回復してきている状況である。		

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【平成21年度抽出箇所③】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	栃木県	
箇所所在地	大田原市 黒羽1	樹種	スギ・ヒノキ	林齢	16～56年生
事業概要	事業内容	間伐 74.13ha	事業の必要性	当計画地は、水源かん養保安林に指定され、公益的機能の発揮が高く求められる森林として位置づけられているが、木材価格の低迷等のため、15年以上手入れが行われていない。現在は林内にほとんど陽光が差し込まず、下草のない状況である。 このため、降雨時の土砂流出等が懸念されることから、緊急に間伐を実施し、下草などの植生を回復させる必要がある。	
		間伐率 27～35%			
	事業費	10,048,500円			
事業の実施状況	【事業着手前】		【モニタリング調査】	○下層植生調査(H21/7月撮影)	
					
	【事業完了後】			○下層植生調査(H22/7月撮影)	
					
	【H23/7月】			○下層植生調査(H23/6月撮影)	
				間伐を実施したことにより、林内に光が入るようになり、下草などの植生が少しずつ回復してきている状況である。	

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【平成21年度抽出箇所④】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	栃木県	
箇所所在地	佐野市 小戸外	樹種	スギ・ヒノキ	林齢	20～56年生
事業概要	事業内容	間伐 44.77ha	事業の必要性	当計画地は、水源かん養保安林に指定され、公益的機能の発揮が高く求められる森林として位置づけられているが、木材価格の低迷等のため、15年以上手入れが行われていない。現在は林内にほとんど陽光が差し込まず、下草などの植生が衰退している状況にある。 このため、降雨時の土砂流出等が懸念されることから、緊急に間伐を実施し、下草などの植生を回復させる必要がある。	
		間伐率 28～35%			
	事業費	7,174,650円			
事業の実施状況	【事業着手前】		【モニタリング調査】		
					
					
	【事業完了後】		○下層植生調査 (H22/8月撮影)		
					
					
【H23/7月】		○下層植生調査 (H23/6月撮影)			
					
		間伐を実施したことにより、林内に光が入るようになり、下草などの植生が回復してきている状況である。			

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【平成21年度抽出箇所⑤】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	栃木県	
箇所所在地	塩谷町 玉生	樹種	スギ・ヒノキ	林齢	46～60年生
事業概要	事業内容	間伐 10.65ha	事業の必要性	当計画地は、水源かん養保安林に指定され、公益的機能の発揮が高く求められる森林として位置づけられているが、木材価格の低迷等のため、15年以上手入れが行われていない。現在は林内にほとんど陽光が差し込まず、下草などの植生が衰退している状況にある。 このため、降雨時の土砂流出等が懸念されることから、緊急に間伐を実施し、下草などの植生を回復させる必要がある。	
		間伐率 20～35%			
	事業費	1,524,000円			
事業の実施状況	【事業着手前】		【モニタリング調査】		
			○下層植生調査(H21/8月撮影) 		
	↓ 【事業完了後】		↓ ○下層植生調査(H22/7月撮影) 		
	↓ 【H23/7月】		↓ ○下層植生調査(H23/8月撮影) 		
間伐を実施したことにより、林内に光が入るようになり、下草などの植生が回復してきている状況である。					

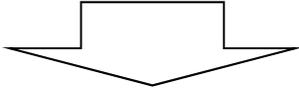
平成22年度とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業 市町別獣害対策実施一覧

所管事務所	No.	市町名	対策実施箇所数	実施面積計(ha)	本数被害率	実施地区	地区内実施箇所数	事業主体	実施面積(ha)	備考
県西環境森林事務所	1	日光市	257	130.00	10~20%	小来川・滝ヶ原(旧日光市)	46	日光地区森林組合	50.08	
						小百(旧今市市)	32	日光地区森林組合	34.38	
						土呂部・日蔭・日向・湯西川(旧栗山村)	179	栗山森林組合	45.54	
	2	鹿沼市	182	125.00	6~38%	加蘇(旧鹿沼市)	101	鹿沼市森林組合	62.50	【抽出箇所①】
						粟野(旧粟野町)	81	粟野森林組合	62.50	
		小計	439	255.00			439		255.00	
県北環境森林事務所	4	那須塩原市	4	5.00	5~18%	高林(旧黒磯市)	1	那須塩原市森林組合	2.00	【抽出箇所②】
						金沢(旧塩原町)	3	たかはら森林組合	3.00	
			小計	4	5.00			4		5.00
県南環境森林事務所	3	佐野市	54	50.00	10%	作原(旧田沼町)	16	みかも森林組合	18.36	
						仙波・氷室(旧葛生町)	38	みかも森林組合	31.64	【抽出箇所③】
			小計	54	50.00			54		50.00
矢板森林管理事務所	6	塩谷町	8	10.00	7~10%	玉生	2	たかはら森林組合	5.00	【抽出箇所④】
							6	高原林産企業組合	5.00	
			小計	8	10.00			8		10.00
合計			505	320.00	5~38%		505		320.00	

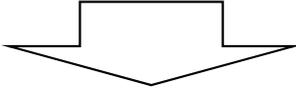
○事業主体別獣害対策実施面積

No.	事業主体名	獣害対策実施面積(ha)	交付金交付額(千円)
1	日光地区森林組合	84.46	27,365
2	栗山森林組合	45.54	14,755
3	鹿沼市森林組合	62.50	20,250
4	粟野森林組合	62.50	20,250
5	みかも森林組合	50.00	16,200
6	那須塩原市森林組合	2.00	648
7	たかはら森林組合	8.00	2,592
8	高原林産企業組合	5.00	1,620
	計	320.00	103,680

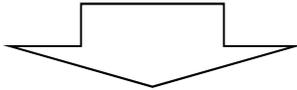
とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所①】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業(獣害対策)			事業主体	鹿沼市森林組合
箇所所在地	鹿沼市 草久	樹種	ヒノキ	加害獣 被害率	シカ 15%
事業概要	事業内容	獣害対策		事業の必要性	栃木県シカ保護管理計画対象市の鹿沼市の森林において、シカによる剥皮被害の発生により樹木が枯死し森林の公益的機能が低下していることから、被害の拡大を防ぎ森林の公益的機能を維持するため、単木的な獣害対策を実施する必要がある。
	実施面積	0.17ha			
	事業費	55,080円			
事業の実施状況	【獣害被害発生状況】				
					
					
【獣害対策完了後】					
					

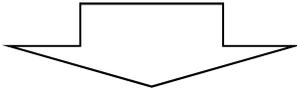
とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所②】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業(獣害対策)			事業主体	那須塩原市森林組合	
箇所所在地	那須塩原市 高林		樹種	ヒノキ	加害獣	クマ
					被害率	18%
事業概要	事業内容	獣害対策		事業の必要性	栃木県ツキノワグマ保護管理計画対象市の那須塩原市の森林において、クマによる剥皮被害の発生により樹木が枯死し森林の公益的機能が低下していることから、被害の拡大を防ぎ森林の公益的機能を維持するため、単木的な獣害対策を実施する必要がある。	
	実施面積	2.00ha				
	事業費	648,000円				
事業の実施状況	【獣害被害発生状況】					
						
						
【獣害対策完了後】						
						

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所③】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業(獣害対策)			事業主体	みかも森林組合
箇所所在地	佐野市 氷室	樹種	ヒノキ	加害獣	クマ
				被害率	10%
事業概要	事業内容	獣害対策		事業の必要性	栃木県ツキノワグマ保護管理計画対象市の佐野市の森林において、クマによる剥皮被害の発生により樹木が枯死し森林の公益的機能が低下していることから、被害の拡大を防ぎ森林の公益的機能を維持するため、単木的な獣害対策を実施する必要がある。
	実施面積	0.16ha			
	事業費	51,840円			
事業の実施状況	【獣害被害発生状況】				
					
					
【獣害対策完了後】					
					

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所④】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業(獣害対策)			事業主体	たかはら森林組合
箇所所在地	塩谷町 玉生	樹種	ヒノキ	加害獣 被害率	クマ 7%
事業概要	事業内容	獣害対策		事業の必要性	栃木県ツキノワグマ保護管理計画対象町の塩谷町の森林において、クマによる剥皮被害の発生により樹木が枯死し森林の公益的機能が低下していることから、被害の拡大を防ぎ森林の公益的機能を維持するため、単木的な獣害対策を実施する必要がある。
	実施面積	1.19ha			
	事業費	385,560円			
事業の実施状況	【獣害被害発生状況】				
					
事業の実施状況					
	<p>【獣害対策完了後】</p> 				

平成22年度とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業 森林バイオマス利用モデル交付金実施一覧

所管事務所	No.	市町名	実施地区	地区内実施箇所数	事業主体	実施量		交付金交付額	備 考
						実施面積(ha)	利用促進路(m)		
県西環境森林事務所	1	鹿沼市	東大芦地区	1	栃木県森林組合連合会	1.00	0	1,979,430	【評価調書①】
			粕尾地区	1		4.16	0		
		日光市	豊岡地区	1		6.04	610		
		宇都宮市	羽黒地区	1		6.08	300		
		小計		4		17.28	910		
県北環境森林事務所	2	那須町	大和須地区	1	那須町森林組合	14.00	1,000	1,811,000	【評価調書②】
		小計		1		14.00	1,000		
県南環境森林事務所	3	佐野市	岩沢地区	1	みかも森林組合	6.08	0	443,840	【評価調書③】
		小計		1		6.08	0		
合 計				6		37.36	1,910	4,234,270	

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書①

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	栃木県森林組合連合会	
箇所所在地	鹿沼市 東大芦外3	樹種	スギ・ヒノキ	林齢	26～58年生
事業概要	事業内容	森林バイオマス利用モデル 17.28ha	事業の必要性	当計画地は、とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業により間伐を実施した箇所であり、林内には伐捨てられた間伐材が多くあることから、この未利用となっている間伐材の有効活用を図る必要がある。 このため、未利用となっている間伐材の利活用方法、取組体制、実施経費等を検証し、実践に結びつけるための実証的取組を実施する必要がある。	
		造材・集材 17.28ha 利用促進路 910m			
	事業費	1,979,430円			
事業の実施状況	【事業着手前】				
					
					
					

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書②

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	那須町森林組合	
箇所所在地	那須町 大和須	樹種	スギ・ヒノキ	林齢	29～45年生
事業概要	事業内容	森林バイオマス利用モデル 14.00ha	事業の必要性	<p>当計画地は、とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業により間伐を実施した箇所であり、林内には伐捨てられた間伐材が多くあることから、この未利用となっている間伐材の有効活用を図る必要がある。 このため、未利用となっている間伐材の利活用方法、取組体制、実施経費等を検証し、実践に結びつけるための実証的取組を実施する必要がある。</p>	
		造材・集材 14.00ha 利用促進路 1,000m			
	事業費	1,811,000円			
事業の実施状況	【事業着手前】				
					
					
事業の実施状況	【実施状況】				
					
					
事業の実施状況	【事業完了後】				
					
【利用促進路利用状況】					
					

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書③

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	みかも森林組合	
箇所所在地	佐野市 岩沢	樹種	スギ・ヒノキ	林齢	51年生
事業概要	事業内容	森林バイオマス利用モデル 6.08ha 造材・集材 6.08ha	事業の必要性	当計画地は、とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業により間伐を実施した箇所であり、林内には伐捨てされた間伐材が多くあることから、この未利用となっている間伐材の有効活用を図る必要がある。 このため、未利用となっている間伐材の利活用方法、取組体制、実施経費等を検証し、実践に結びつけるための実証的取組を実施する必要がある。	
	事業費	443,840円			
事業の実施状況	【事業着手前】				
					
					

【元気な森づくり】

2. 明るく安全な里山林整備事業

1 有効性

(1) 将来まで守り育てるとちぎの里山林整備 : アンケート調査

アンケート調査の概要	
【対象及び実施数】	事業実施地自治会、全事業箇所(整備箇所33・整備面積165.87ha)
【実施時期】	事業実施年度内
【調査結果】 アンケート対象 180人	
1 里山林整備によって、周辺の風景と調和し美しい景観になったと思いますか。	「非常に美しい景観になった」54%、 「ある程度美しい景観になった」43%、「あまり変わらない」1%、 「整備しない方が良かった」0%、「わからない」2%
2 里山林整備によって、自然観察や散策、里山の手入れなどがしやすくなったと思いますか。	「非常にしやすくなった」51%、「ある程度しやすくなった」46%、 「あまり変わらない」1%、「しづらくなった」0%、「わからない」2%
3 今後、この里山林を地域全体で保全していこうと思いますか。	「非常にそう思う」49%、「ある程度思う」44%、 「ほとんど思わない」2%、「全く思わない」0%、「わからない」5%
4 とちぎの元気な森づくり県民税を使って里山林が整備されて良かったと思いますか。	「とても良かった」64%、「良かった」34%、「どちらでもない」0%、 「良くなかった」0%、「わからない」2%

(2) 通学路や住宅地周辺の安全・安心を確保するための里山林整備 : アンケート調査

アンケート調査の概要	
【対象及び実施数】	学校・保護者・事業実施地自治会、全事業箇所(整備箇所26・整備面積55.29ha)
【実施時期】	事業実施年度内
【調査結果】 アンケート対象 66人	
1 里山林整備によって、児童・生徒などの通学時の安全・安心が向上したと思いますか。	「非常に向上した」50%、「ある程度向上した」33%、 「あまり向上しなかった」8%、「全く向上しなかった」0% 「わからない」9%
2 里山林整備によって、住宅地周辺で生活する上で安全・安心が向上したと思いますか。	「非常に向上した」41%、「ある程度向上した」39%、 「あまり向上しなかった」8%、「全く向上しなかった」0% 「わからない」12%
3 今後、この里山林を地域全体で保全していこうと思いますか。	「非常にそう思う」32%、「ある程度思う」53%、 「ほとんど思わない」0%、「全く思わない」0%、「わからない」15%
4 とちぎの元気な森づくり県民税を使って里山林が整備されて良かったと思いますか。	「とても良かった」56%、「良かった」34%、「どちらでもない」2%、 「良くなかった」0%、「わからない」8%

(3) 野生獣被害軽減のための里山林整備 : アンケート調査

アンケート調査の概要	
【対象及び実施数】	事業実施地の農地耕作者・自治会、全事業箇所(整備箇所55・整備面積416.53ha)
【実施時期】	事業実施年度内
【調査結果】 アンケート対象 419人	
1 里山林整備によって、イノシシなどの野生獣の田畑、住宅地への出没が減った(減る)と思いますか。	「非常に減った(減りそうだ)と思う」33%、 「少し減った(減りそうだ)と思う」52%、 「あまり減っていない(減りそうにない)」7%、 「まったく減らない(減りそうにない)」2%、「わからない」6%
2 里山林整備によって、イノシシなどの野生獣による農業被害が減った(減る)と思いますか。	「非常に減った(減りそうだ)と思う」30%、 「少し減った(減りそうだ)と思う」53%、 「あまり減っていない(減りそうにない)」9%、 「まったく減らない(減りそうにない)」1%、「わからない」7%
3 今後、この里山林を地域全体で保全していこうと思いますか。	「非常にそう思う」42%、「ある程度思う」51%、 「ほとんど思わない」2%、「全く思わない」1%、「わからない」4%
4 とちぎの元気な森づくり県民税を使って里山林が整備されて良かったと思いますか。	「とても良かった」66%、「良かった」30%、「どちらでもない」2%、 「良くなかった」0%、「わからない」2%

2 効率性

区 分	整備計画 面積(ha) A	予算額 (千円) B	整備実績 面積(ha) C	決算額 (千円) D	効率性 (千円/ha) D/C
将来まで守り育てるとちぎの里山林整備 (a)	152	122,018 (138,718)	165.87	83,824 (99,912)	505
通学路や住宅地周辺の安全・安心を確保するための里山林整備 (b)	68	17,150 (25,700)	55.29	13,147 (21,872)	238
野生獣被害軽減のための里山林整備 (c)	359	84,197 (117,547)	416.53	90,296 (123,426)	217
里山林整備事業費合計(a+b+c)	579	223,365 (281,965)	637.69	187,267 (245,210)	294

※()書き数字は管理費を含む全体の事業費

〔効率性に関する比較検討〕 ※対象経費が大きく異なるため、(a)と(b)(c)を分けて比較

比較県	効率性	特 記 事 項
栃木県 (a)	505 (千円/ha)	【事業対象経費】 ・ ①不要木の除去 ②やぶの刈り払い ③樹木の植栽 ④歩道の整備 ⑤案内標識整備 【実施主体】 ・ 市町村
A県	840 (千円/ha)	【事業対象経費】 ・ ①除間伐 ②下刈り ③樹木の植栽 ④標識設置 【実施主体】 ・ 市町村
栃木県 (b)(c)	219 (千円/ha)	【事業対象経費】 ・ ①不要木の除去 ②やぶの刈り払い 【実施主体】 ・ 市町村
B県	304 (千円/ha)	【事業対象経費】 ・ ①除伐 ②やぶの刈り払い 【実施主体】 ・ NPO・ボランティア団体等

3 進ちよく度

区 分	整備計画 面積(ha) A	予算額 (千円) B	整備実績 面積(ha) C	決算額 (千円) D	進ちよく度 (%) C/A	予算執行率 (%) D/B
将来まで守り育てるとちぎの里山林整備 (a)	152	122,018 (138,718)	165.87	83,824 (99,912)	109.1	68.7
通学路や住宅地周辺の安全・安心を確保するための里山林整備 (b)	68	17,150 (25,700)	55.29	13,147 (21,872)	81.3	76.7
野生獣被害軽減のための里山林整備 (c)	359	84,197 (117,547)	416.53	90,296 (123,426)	116.0	107.2
里山林整備事業費合計(a+b+c)	579	223,365 (281,965)	637.69	187,267 (245,210)	110.1	83.8

※()書き数字は管理費を含む全体の事業費

平成22年度里山林整備事業一覧

No.	所在地	実施期間	事業目的	主な事業内容	実施主体	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円) B/A	特記事項
1	鹿沼市茂呂	H23.1.27～H23.3.25	将来まで守り育てる	不要木の除去・やぶの刈払い・歩道整備	鹿沼市	3.00	3,000	1,000	
2	日光市猪倉	H23.1.18～H23.3.18	〃	不要木の除去・やぶの刈払い・歩道整備	日光市	4.00	2,325	581	
3	宇都宮市兵庫塚町	H22.9.1～H23.2.18	〃	間伐・やぶの刈払い	日本樹木育成研究会	1.50	511	341	
4	宇都宮市中岡本	H22.6.18～H23.2.28	〃	間伐・やぶの刈払い・歩道整備	岡本城址を整備する会	1.50	1,500	1,000	
5	宇都宮市福岡町	H22.8.1～H23.2.28	〃	間伐・やぶの刈払い・木柵整備	宇都宮市・宇都宮市森林保全クラブ	8.97	3,600	401	
6	真岡市長田	H22.10.26～H23.3.15	〃	除間伐・歩道整備	真岡市	3.60	1,243	345	
7	真岡市東大島1	H22.10.26～H23.3.15	〃	除間伐・歩道整備	真岡市	10.60	3,538	334	
8	真岡市東大島2	H22.10.26～H23.3.15	〃	不要木の除去・やぶの刈払い・歩道整備	真岡市	3.00	1,275	425	
9	真岡市伊勢崎	H22.10.26～H23.3.15	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	真岡市	5.40	2,392	443	
10	益子町前沢	H23.2.18～H23.3.30	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	益子町	4.20	891	212	
11	益子町芦沼	H23.1.21～H23.3.30	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	益子町	2.50	609	244	
12	茂木町林	H23.1.11～H23.3.25	〃	不要木の除去・やぶの刈払い・歩道整備	林協議会	10.00	4,000	400	
13	茂木町小貫	H22.11.1～H23.3.25	〃	不要木の除去・植栽	小貫焼森の里協議会	3.00	750	250	
14	茂木町黒田	H23.1.11～H23.3.25	〃	不要木の除去・植栽	黒田地区コミュニティ推進協議会	3.00	1,000	333	
15	茂木町茂木	H22.10.1～H23.3.25	〃	不要木の除去・歩道整備	小倉山御嶽里山公園つくりの会	3.00	1,500	500	
16	市貝町市塙	H22.9.28～H23.1.12	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	市貝町	5.83	5,000	858	
17	芳賀町東高橋	H22.8.1～H23.3.13	〃	不要木の除去・やぶの刈払い・歩道整備	芳賀町	16.16	5,418	335	
18	那須塩原市宇津野	H23.2.7～H23.3.25	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	那須塩原市	3.10	2,940	948	
19	那須烏山市小塙	H22.12.22～H23.3.18	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	那須烏山市	10.00	5,007	501	
20	那須町広谷地1	H23.2.21～H23.3.18	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	那須町	1.20	1,200	1,000	

No.	所在地	実施期間	事業目的	主な事業内容	実施主体	整備面積 (ha) A	事業費 (千円)B	効率性 (千円)B/A	特記事項
21	那須町広谷地2	H23.2.21～H23.3.18	将来まで守り育てる	不要木の除去・やぶの刈払い	那須町	1.00	1,000	1,000	
22	那珂川町馬頭	H23.1.27～H23.3.10	〃	不要木の除去・やぶの刈払い・歩道整備	那珂川町	5.60	1,680	300	
23	那珂川町大山田下郷	H23.1.27～H23.3.10	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	那珂川町	5.30	1,750	330	
24	栃木市大平町	H23.1.27～H23.3.3	〃	不要木の除去・やぶの刈払い・歩道整備	栃木市	14.00	3,061	219	
25	佐野市奈良淵町	H23.2.7～H23.3.18	〃	不要木の除去・やぶの刈払い・歩道整備	佐野市	4.50	4,500	1,000	
26	佐野市多田町	H23.3.3～H23.3.25	〃	不要木の除去・やぶの刈払い・歩道整備	佐野市	1.26	1,218	967	
27	下野市国分寺	H22.11.8～H23.1.22	〃	不要木の除去・やぶの刈払い・解説標識設置	下野市	3.00	1,095	365	
28	壬生町上稲葉	H23.1.4～H23.3.11	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	壬生町	6.65	6,620	995	
29	岩舟町大字小野寺	H22.12.5～H23.2.15	〃	不要木の除去・やぶの刈払い・ベンチ整備	岩舟町	5.00	3,303	661	【抽出箇所①】
30	矢板市川崎反町	H23.1.17～H23.3.28	〃	植栽・案内標識設置	矢板市	6.00	3,087	515	
31	さくら市櫻野	H22.12.6～H23.3.10	〃	不要木の除去・やぶの刈払い・歩道整備等	さくら市	5.00	4,998	1,000	
32	塩谷町船生	H22.9.9～H22.12.20	〃	不要木の除去・やぶの刈払い・歩道整備	塩谷町	2.94	1,900	646	【抽出箇所②】
33	高根沢町上柏崎	H23.2.1～H23.3.18	〃	不要木の除去・歩道整備・案内標識設置	高根沢町	2.06	1,913	929	
34	鹿沼市板荷	H22.10.25～H22.12.10	通学路等の安全・安心確保	やぶの刈払い	自然体験交流センター管理運営スタッフ会議	1.22	220	180	
35	鹿沼市加園	H22.8.9～H23.1.14	〃	やぶの刈払い	加蘇コミュニティ推進協議会	1.96	352	180	
36	日光市板橋	H23.2.8～H23.3.8	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	日光市	4.00	949	237	【抽出箇所③】
37	日光市原宿	H22.11.19～H22.12.14	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	日光市	1.80	400	222	
38	那須塩原市太夫塚	H23.2.18～H23.3.25	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	那須塩原市	0.76	190	250	
39	那須烏山市大金	H22.12.22～H23.3.18	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	那須烏山市	1.00	250	250	【抽出箇所④】
40	那須烏山市谷浅見	H22.12.22～H23.3.18	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	那須烏山市	4.00	1,000	250	

No.	所在地	実施期間	事業目的	主な事業内容	実施主体	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円) B/A	特記事項
41	那珂川町薬利	H23.1.27～H23.3.10	通学路等の安全・安心確保	不要木の除去・やぶの刈払い	那珂川町	2.60	650	250	
42	那珂川町馬頭	H23.1.27～H23.3.10	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	那珂川町	0.50	100	200	
43	足利市田島町	H22.12.1～H23.3.24	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	足利市	10.00	2,252	205	
44	栃木市藤岡町	H23.1.24～H23.1.31	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	栃木市	1.00	194	45	
45	小山市東島田	H23.2.3～H23.3.15	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	小山市	3.30	825	250	
46	下野市上台・細谷	H22.7.22～H22.8.20	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	下野市	0.35	87	249	
47	壬生町北小林	H22.12.28～H23.3.11	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	壬生町	2.50	620	248	
48	野木町南赤塚	H23.1.13～H23.3.11	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	野木町	7.60	1,900	250	
49	岩舟町大字静	H22.12.15～H23.2.15	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	岩舟町	0.70	175	250	
50	矢板市平野	H22.12.22～H23.2.18	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	矢板市	1.35	338	250	
51	矢板市立足1	H22.12.22～H23.2.28	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	矢板市	0.30	75	250	
52	矢板市立足2	H22.12.22～H23.2.28	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	矢板市	1.05	258	245	
53	矢板市東泉1	H22.12.22～H23.2.28	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	矢板市	1.24	310	250	
54	矢板市立足・長井	H22.12.22～H23.2.28	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	矢板市	2.05	513	250	
55	矢板市長井	H22.12.22～H23.2.18	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	矢板市	0.40	100	250	
56	矢板市倉掛	H22.12.22～H23.2.18	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	矢板市	0.36	90	250	
57	矢板市土屋	H22.12.22～H23.2.18	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	矢板市	0.75	188	250	
58	矢板市東泉2	H22.12.22～H23.2.28	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	矢板市	1.50	363	242	
59	塩谷町船生	H22.11.25～H23.1.28	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	塩谷町	3.00	750	250	
60	鹿沼市笹原田	H22.11.22～H23.2.23	野生獣被害軽減	不要木の除去・やぶの刈払い	笹原田自治会	13.31	2,344	176	

No.	所在地	実施期間	事業目的	主な事業内容	実施主体	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円) B/A	特記事項
61	鹿沼市板荷1	H22.10.4～H23.2.28	野生獣被害軽減	やぶの刈払い	板荷4区自治会	2.78	486	175	
62	鹿沼市板荷2	H22.12.20～H23.2.1	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	板荷3区自治会	2.55	638	250	
63	鹿沼市板荷3	H23.2.4～H23.2.25	〃	やぶの刈払い	板荷8区自治会	1.28	224	175	
64	鹿沼市下沢	H22.9.17～H23.1.21	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	下沢自治会	1.83	458	250	
65	鹿沼市粟野	H22.4.30～H23.2.21	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	口粟野自治会	2.08	520	250	
66	鹿沼市深程	H22.12.1～H23.3.28	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	深程自治会	3.64	910	250	
67	日光市南小来川	H22.7.26～H22.8.18	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	日光市	5.10	1,275	250	
68	日光市西小来川	H22.7.20～H22.8.9	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	日光市	1.90	475	250	
69	日光市東小来川	H22.11.2～H22.12.10	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	日光市	3.60	900	250	
70	日光市和泉	H22.11.12～H22.12.24	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	日光市	4.10	1,025	250	
71	日光市岩崎	H23.2.8～H23.3.4	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	日光市	5.00	1,250	250	
72	日光市下猪倉	H22.11.2～H22.12.15	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	日光市	7.80	1,850	237	
73	日光市小佐越	H22.10.25～H22.11.30	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	日光市	2.40	600	250	
74	西方町真名子1	H22.12.24～H23.3.15	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	西方町	35.96	8,750	243	
75	西方町真名子2	H22.12.24～H23.3.15	〃	不要木の除去・やぶの刈払い					
76	西方町真名子3	H22.12.24～H23.3.15	〃	不要木の除去・やぶの刈払い					
77	西方町元・本城	H22.12.24～H23.3.15	〃	不要木の除去・やぶの刈払い					
78	宇都宮市冬室	H22.7.27～H23.2.28	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	宇都宮市	6.00	1,050	175	
79	真岡市南高岡	H23.1.25～H23.2.4	〃	やぶの刈払い	真岡市	2.00	315	158	
80	益子町益子	H23.1.21～H23.3.30	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	益子町	5.00	1,218	244	

No.	所在地	実施期間	事業目的	主な事業内容	実施主体	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円) B/A	特記事項
81	益子町前沢	H23.2.18～H23.3.30	野生獣被害軽減	不要木の除去・やぶの刈払い	益子町	5.00	1,064	213	
82	益子町長堤	H23.1.21～H23.3.30	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	益子町	5.00	1,218	244	
83	茂木町九石	H22.12.2～H23.3.16	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	九石里山保存会	1.00	250	250	
84	茂木町烏生田	H22.12.10～H23.3.10	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	烏生田の里山を守る会	8.00	2,000	250	
85	茂木町竹原	H22.12.10～H23.3.23	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	竹原里山会	2.00	500	250	
86	茂木町飯	H22.12.10～H23.3.17	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	木の葉会	3.50	875	250	
87	茂木町生井、町田	H22.12.10～H23.3.10	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	生井・栗生里山を守る会	2.00	500	250	
88	茂木町林	H22.12.21～H23.3.23	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	茂木町	2.50	625	250	
89	茂木町深沢	H22.12.21～H23.3.23	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	茂木町	2.00	500	250	
90	茂木町天子	H22.12.21～H23.3.23	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	茂木町	15.00	3,750	250	
91	芳賀町上稲毛田	H22.12.1～H23.3.13	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	芳賀町	56.00	11,344	203	
92	芳賀町上稲毛田	H22.11.1～H23.3.13	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	芳賀町	8.40	1,523	181	
93	大田原市南方	H22.10.12～H23.3.15	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	大田原市	40.00	7,000	175	
94	大田原市須佐木1	H22.10.12～H23.1.31	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	大田原市	22.00	3,850	175	【抽出箇所⑤】
95	大田原市須佐木2	H22.10.12～H22.12.24	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	大田原市	8.00	1,400	175	
96	那須塩原市百村	H22.12.28～H23.3.18	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	那須塩原市	12.21	2,100	172	
97	那須塩原市宇津野	H23.1.21～H23.3.25	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	那須塩原市	11.78	1,739	148	
98	那須烏山市小木須	H22.12.22～H23.3.18	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	那須烏山市	5.00	1,250	250	
99	那珂川町大山田下郷	H22.10.1～H22.12.24	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	那珂川町	4.00	1,000	250	
100	足利市板倉町	H22.8.6～H23.3.24	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	足利市	8.50	2,087	246	

No.	所在地	実施期間	事業目的	主な事業内容	実施主体	整備面積 (ha) A	事業費 (千円)B	効率性 (千円)B/A	特記事項
101	足利市松田町	H22.12.21～H23.2.23	野生獣被害軽減	不要木の除去・やぶの刈払い	足利市	5.00	1,181	236	
102	足利市田島町	H22.12.8～H23.3.24	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	足利市	13.00	3,174	244	
103	足利市月谷町	H22.9.30～H23.3.18	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	足利市	1.60	378	236	
104	栃木市梅沢町	H22.10.8～H22.10.27	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	坂の入里山の会	2.00	500	250	
105	栃木市鍋山町	H23.2.9～H23.3.10	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	栃木市	4.00	956	239	
106	栃木市都賀町	H22.11.18～H23.2.6	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	栃木市	20.00	4,977	249	
107	佐野市上牧町	H23.1.21～H23.3.10	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	佐野市	5.40	1,348	250	
108	佐野市秋山町	H23.1.11～H23.3.10	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	佐野市	4.50	1,085	241	
109	佐野市船越町	H23.1.11～H23.1.31	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	佐野市	5.10	1,208	237	
110	佐野市赤見町1	H23.1.11～H23.3.10	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	佐野市	14.60	3,642	249	
111	佐野市赤見町2	H23.1.11～H23.2.28	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	佐野市	6.20	1,501	242	
112	矢板市上伊佐野1	H22.12.22～H23.2.28	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	矢板市	2.00	407	203	【抽出箇所⑥】
113	矢板市上伊佐野2	H22.12.22～H23.2.18	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	矢板市	1.35	328	243	
114	塩谷町船生	H22.11.25～H23.1.28	〃	不要木の除去・やぶの刈払い	塩谷町	3.56	750	211	
県合計(a)						637.69	187,267	294	

事業計画(b)					579.0	223,365	386	
進捗度(a)/(b) %					110.1%	83.8%	76.1%	

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所①】

事業名	明るく安全な里山林整備事業 (将来まで守り育てるとちぎの里山林整備事業)		事業主体	岩舟町
所在地	岩舟町 大字小野寺		事業の 必要性	山林に接する村楡神社から首都圏自然歩道の松風の道が通っており、ハイキングの多い山でもある。スギやヒノキが群生しているので、山林が明るくなるよう不要木の除去や、やぶの刈払いをして景観保全に努めていく必要がある。
事業概要	事業内容	不要木の除去 やぶの刈払い ベンチ整備		
	整備面積	5.00ha		
	事業費	3,303,000円		
事業の 実施状況	【事業着手前】			
				
				
【事業完了後】				

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所②】

事業名	明るく安全な里山林整備事業 (将来まで守り育てるとちぎの里山林整備事業)	事業主体	塩谷町
所在地	塩谷町 船生		
事業概要	事業内容	不要木の除去 やぶの刈払い 歩道整備	事業の 必要性 当該森林は、多くの参拝者が訪れる岩戸別神社に隣接し、鎮守の森として親しまれている樹齢300年を誇るスギ林であるが、ほとんど整備されていなかった。古くから地域住民に親しまれてきたこの山林において後世にその素晴らしさを伝えるため、不要木の除去、歩道・案内看板設置等行う必要がある。
	整備面積	2.94ha	
	事業費	1,900,000円	
事業の 実施状況	【事業着手前】 		
			
	【事業完了後】 		

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所③】

事業名	明るく安全な里山林整備事業 <small>(通学路や住宅周辺の安全・安心確保のための里山林整備事業)</small>	事業主体	日光市
所在地	日光市 板橋		
事業概要	事業内容	不要木の除去 やぶの刈払い	事業の必要性 通学路沿いの見通しの悪い里山林であり、通学の安全・安心を確保するため、やぶを刈り払い、整備する必要がある。
	整備面積	4.00ha	
	事業費	948,500円	
事業の実施状況	【事業着手前】 		
			
	【事業完了後】 		

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所④】

事業名	明るく安全な里山林整備事業 <small>(通学路や住宅周辺の安全・安心確保のための里山林整備事業)</small>		事業主体	那須烏山市
所在地	那須烏山市 大金		事業の 必要性	やぶ化して見通しが悪くなっている通学路であり、生徒及び地域住民の安全・安心を確保するためにやぶを刈り払い、明るく見通しの良い通学路にする必要がある。
事業概要	事業内容	不要木の除去 やぶの刈払い		
	整備面積	1.00ha		
	事業費	250,000円		
事業の 実施状況	【事業着手前】			
				
				
【事業完了後】				
				

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所⑤】

事業名	明るく安全な里山林整備事業 (野生獣被害軽減のための里山林整備事業)		事業主体	大田原市
所在地	大田原市 須佐木1		事業の 必要性 イノシシによる農作物被害が発生している農地周辺の森林であり、イノシシの農地への出没を防止するための緩衝帯としてやぶを刈り払う必要がある。	
事業概要	事業内容	不要木の除去 やぶの刈払い		
	整備面積	22.00ha		
	事業費	3,850,000円		
事業の 実施状況	【事業着手前】 			
	 【事業完了後】 			

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価調書【抽出箇所⑥】

事業名	明るく安全な里山林整備事業 (野生獣被害軽減のための里山林整備事業)		事業主体	矢板市
所在地	矢板市 上伊佐野1		事業の 必要性	近年イノシシの出没が増加し、農作物が被害を受けているため、やぶの刈り払いや不要木の除去をおこない、野生獣が人里に近づきにくい環境をつくる必要がある。
事業概要	事業内容	不要木の除去 やぶの刈り払い		
	整備面積	2.00ha		
	事業費	406,875円		
事業の実施状況	<p>【事業着手前】</p>  <p style="text-align: center;">↓</p> <p>【事業完了後】</p> 			

【森を育む人づくり】

3. 元気な森を育む木の良さ普及啓発事業

1 有効性

(1) 木製学習用机・椅子配布事業

アンケート調査の概要 【対象及び実施数】 木製学習用机・いす配布校 35校の教諭 35名(配布校各1名) 【実施時期】 平成23年4～5月	
【調査結果】 アンケート対象 35人	
1 今回配布した木製学習用机・いすの材料の「木材」は、栃木県内で何十年も前に植えられた森林の手入れ(間伐)により発生したものです。このことについて、児童・生徒に説明されましたか。	「はい」100%、「いいえ」0%
2 前に使っていたスチール製の机やいすと比べてどうですか。	「木製の方がよい」29%、 「どちらかと言えば木製の方がよい」34%、 「どちらかと言えばスチール製の方がよい」20%、 「スチール製の方がよい」3%、 「どちらでも変わらない」14%
3 木を使うことは、森林を元気にするために大切であることを知っていましたか。	「知っていた」77%、「知らなかった」23%
4 県内の森林を健全に育てるために、今後、栃木県の木を利用したいと思いますか。	「とてもそう思う」80%、「まあまあそう思う」20%、 「そう思わない」0%
5 とちぎの元気な森づくり県民税で、学校にこの机やいすが整備されてよかったと思いますか。	「とてもよかった」37%、「よかった」49%、 「どちらでもない」14%、「よくなかった」0%

(2) 木製ベンチ配布事業

アンケート調査の概要 【対象及び実施数】 木製ベンチ配布先:56事業者等 56名(配布先各1名) 【実施時期】 平成23年5～7月	
【調査結果】 アンケート対象 56人	
1 今回配布した木製ベンチの材料の「木材」は、栃木県内で何十年も前に植えられた森林の手入れ(間伐)により発生したものです。このことについて、何らか(パンフレットの設置・配布)の普及活動を行いましたか。	「はい」98%、「いいえ」2%
2 一般的なスチール製やプラスチック製(以下スチール製)のベンチと比べてどうですか。	「木製の方がよい」57%、 「どちらかと言えば木製の方がよい」36%、 「どちらかと言えばスチール製の方がよい」0%、 「スチール製の方がよい」2%、 「どちらでも変わらない」5%
3 木を使うことは、森林を元気にするために大切であることを知っていましたか。	「知っていた」68%、「知らなかった」32%
4 県内の森林を健全に育てるために、今後、栃木県の木を利用したいと思いますか。	「とてもそう思う」68%、「まあまあそう思う」30%、 「そう思わない」2%
5 とちぎの元気な森づくり県民税で、あなたの事業所等に木製ベンチが配布されてよかったと思いますか。	「とてもよかった」61%、「よかった」35%、 「どちらでもない」2%、「よくなかった」2%

2 効率性

(1) 木製学習用机・椅子配布事業

事業費決算額 (千円) A	配布数量 (セット) B	1セット当たりの事業費 (円/セット) A/B	比較対照
53,739	2,000	26,870	前年度との比較 平成21年度事業実績:23,772円/セット

(2) 木製ベンチ配布事業

事業費決算額 (千円) A	配布数量 (セット) B	1セット当たりの事業費 (円/セット) A/B	比較対照
7,518	500	15,036	他県との比較 A県:30,000円/セット

※参考(他県の実施状況)

他県最小値 30,000円/基(A県、仕様:L=1.5m、塗装品、丸太を半割し、背もたれの無いデザイン)

他県最大値 100,000円/基(B県、仕様:L=1.6~1.8m、塗装品、板材で構成され、背もたれのあるデザイン)

本県 15,036円/基(栃木県、仕様:L=1.3m、無塗装、角材を組み合わせ、背もたれの無いデザイン)

3 進捗よく度

(1) 木製学習用机・椅子配布事業

計画 (セット) A	実績 (セット) B	B/A (%)
2,000	2,000	100

(2) 木製ベンチ配布事業

計画 (セット) A	実績 (セット) B	B/A (%)
500	500	100

【森を育む人づくり】

4. とちぎ森づくり情報センター事業

1 有効性

アンケート調査の概要	
【対象及び実施数】	「とちぎの森づくり」ホームページの平成23年3月末における登録者 113名 (ホームページに情報を掲載できる者)
【実施時期】	平成23年7月
【調査結果】 アンケート対象 36人	
1 このホームページの利用によってあなたやあなたのグループは活動しやすくなりましたか。	「非常に活動しやすくなった」8%、 「活動しやすくなった」36%、 「どちらでもない」56%、「活動しにくくなった」0%
2 このホームページの利用によってあなたやあなたのグループに役立っていますか。	「大いに役立つ」8%、「ある程度役立つ」53%、 「どちらとも言えない」28%、「役立たない」11%
3 これからも森づくり活動に取り組みたいと思いますか。	「これまで以上に取り組みたい」25%、 「これまでと同じように取り組みたい」64%、 「あまり取り組みたくない」0%、「取り組まない」0%、 「わからない」11%
4 とちぎの元気な森づくり県民税で、このようなホームページができてよかったと思いますか。	「とても良かった」22%、「良かった」58%、 「どちらでもない」17%、「良くなかった」3%

2 効率性

事業費決算額 (千円) A	アクセス件数 (件/年) B	1アクセス当たりの事業費 (円/アクセス) A/B	比較対照
8,489	14,566	583	他県との比較 A県:7,935千円、730件、10,870円/アクセス

3 進捗よく度

区分	計画 (人) A	実績 (人) B	B/A (%)	備考
「とちぎの森づくり」ホームページの登録者数	150	113	75	H23.3末現在までの登録者数

【森を育む人づくり】

5. とちぎ「森の楽校(がっこう)」事業

1 有効性

<p>アンケート調査の概要 【対象及び実施数】 「森とのふれあい講座」「森づくり講座」「グリーンスタッフ養成講座」 参加者全員 309名(延べ参加者数) 【実施時期】 各講座終了時</p>	
<p>【調査結果】 アンケート対象 241人</p>	
1 講座の内容や体験は、理解できましたか。	「理解できた」64%、「ある程度理解できた」33%、「理解できなかった」1%、「どちらとも言えない」1%
2 この講座により、森づくりについて理解が深まりましたか。	「非常に深まった」50%、「ある程度理解が深まった」47%、「あまり理解が深まらなかった」1%、「これまでとほとんど変わらない」2%
3 この講座は、あなたの今後の森づくり活動に役立ちますか。	「大いに役立つ」58%、「ある程度役立つ」41%、「あまり役立たない」0%、「役立たない」0%、「どちらとも言えない」1%
4 今後も森づくり活動や森の大切さの普及活動等に取り組みたいですと思いませんか。	「これまで以上に取り組みたい」48%、「これまでと同じ程度に取り組みたい」51%、「あまり取り組みたくない」0%、「取り組まない」0%、「わからない」1%
5 とちぎの元気な森づくり県民税により、この講座が行われてよかったと思いませんか。	「とてもよかった」59%、「よかった」38%、「よくなかった」1%、「どちらでもない」2%
<p>アンケート調査の概要 【対象及び実施数】 「森の体験活動実施」による助成団体(学校)の担当教諭及び指導者研修参加者 69名 【実施時期】 指導者研修終了時及び平成23年3月</p>	
<p>【調査結果】 アンケート対象 56人</p>	
1 この事業により、あなたの団体(学校)は森林環境学習に取り組みやすくなりましたか。	「非常に取組やすくなった」23%、「取組やすくなった」68%、「取組みにくくなった」10%、「どちらとも言えない」9%
2 この取組は、(参加した)子どもたちにとって、役立ちそうですか。	「大いに役立つ」36%、「ある程度役立つ」63%、「あまり役立たない」0%、「役立たない」1%、「どちらとも言えない」0%
3 今後も、森林環境学習に取り組みたいですと思いませんか。	「これまで以上に取り組みたい」56%、「これまでと同じ程度に取り組みたい」42%、「あまり取り組みたくない」0%、「取り組まない」0%、「わからない」2%
4 とちぎの元気な森づくり県民税で、この事業が行われてよかったと思いませんか。	「とても良かった」46%、「良かった」45%、「どちらでもない」7%、「良くなかった」2%
<p>アンケート調査の概要 【対象及び実施数】 森の子サミット(緑の少年団等の交流による森林体験活動)参加者 125名 【実施時期】 森の子サミット終了時</p>	
<p>【調査結果】 アンケート対象 116人</p>	
1 今日のイベントに参加した感想はいかがでしたか。	「とても楽しかった」79%、「まあまあ楽しかった」17%、「どちらでもない」4%、「面白くなかった」0%
2 このイベントに参加して、森林について理解できましたか。	「とても理解できた」61%、「ある程度理解できた」34%、「あまり理解できなかった」2%、「これまでと殆ど変わらない」3%
3 このようなイベントに、今後も参加したいと思いませんか。	「ぜひ参加したい」69%、「どちらかといえば参加したい」20%、「あまり参加しないと思う」3%、「参加しない」1%、「わからない」7%
4 とちぎの元気な森づくり県民税で、このイベントが行われてよかったと思いませんか。	「とても良かった」65%、「良かった」31%、「どちらでもない」3%、「良くなかった」1%

2 効率性

事業費決算額 (千円) A	参加者数 (人) B	1人当たりの事業費 (千円/人) A/B	比 較 対 照
9,003	4,204	2	他県との比較 A県:10,219千円、2,457人、4千円/人

3 進ちょく度

区 分	計画 (回・団体) A	実績 (回・団体) B	B/A (%)
開催回数 (回)	20	20	100
助成団体数 (団体)	20	21	105

【森を育む人づくり】

6. とちぎの元気な森づくり県民会議事業

1 有効性

アンケート調査の概要 【対象及び実施数】 工作教材配布校60校のうち5校の児童 165名(配布数1,300セットの1割以上) 【実施時期】 木工教室体験後及び平成23年3~5月	
【調査結果】 アンケート対象 165人	
1 今回までに、木工工作をしたことがありますか。	「今回が初めて」1%、「1~2回ある」65%、「何回もある」34%
2 今回の木工工作はどうでしたか。	「とても楽しかった」70%、「まあまあ楽しかった」25%、「どちらでもない」4%、「楽しくなかった」1%
3 工作の材料である「木」について、どのように感じましたか(複数可)。	「あたたかい感じ」17%、「やわらかい感じ」17%、「色や木目がきれい」34%、「よい香り」30%、「何も感じない」2%
4 ほかにも木を使って工作したり、木でできたもの(机やイスなど)を使いたいと思いますか。	「とてもそう思う」53%、「どちらかといえばそう思う」41%、「どちらでもない」5%、「あまり思わない」1%
5 とちぎの元気な森づくり県民税で、今回の木工工作ができてよかったと思いますか。	「とてもよかった」65%、「よかった」31%、「どちらでもない」4%、「よくなかった」0%
アンケート調査の概要 【対象及び実施数】 工作教材配布校60校すべての学校の教諭 66名(配布校1名以上) 【実施時期】 木工教室体験後及び平成23年3~5月	
【調査結果】 アンケート対象 66人	
1 今回のような木工工作学習の取組について、先生のこれまでの御経験を教えてください。	「今回が初めて」71%、「1~2回ある」27%、「何回もある」2%
2 工作の材料である「木」について、先生自身はどのように感じましたか(複数可)。	「あたたかい感じ」30%、「やわらかい感じ」21%、「色や木目がきれい」26%、「よい香り」23%、「何も感じない」0%
3 今回の工作学習を実施して、木の良さや木を使うことの大切さについて、子どもたちの理解は深まったと感じますか。	「非常に深まった」21%、「ある程度深まった」79%、「あまり深まらなかった」0%、「これまでとほとんど変わらない」0%
4 今回のような木工工作学習を、今後も実施したいと思いますか。	「ぜひ実施したい」70%、「どちらかといえば実施したい」29%、「あまり実施しないと思う」0%、「実施しない」0%、「わからない」1%
5 とちぎの元気な森づくり県民税で、今回の木工工作ができてよかったと思いますか。	「とてもよかった」76%、「よかった」23%、「どちらでもない」1%、「よくなかった」0%

2 効率性

事業費決算額 (千円) A	配布数量 (セット) B	1セット当たりの事業費 (円/セット) A/B	比較対照
1,425	1,300	1,096	前年度との比較 平成21年度事業実績:1,040円/セット

3 進ちよく度

計画 (セット) A	実績 (セット) B	B/A (%)	備考
1,300	1,300	100	○配布工作教材1,300セットの内訳: 貯金箱(108)、本立て(586)、ベンチ(139)、飾り棚(164)、 小物入れ(27)、プリンター(184)、小箱(92)

【森を育む人づくり】

7. とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会事業

2 効率性

事業費決算額 (千円) A	開催回数 (回) B	1回当たりの事業費 (千円/回) A/B	比較対照
526	4回 (うち現地調査2回)	132	他県との比較 A県:304千円、2回、152千円/回

【森を育む人づくり】

8. とちぎの元気な森づくり県民広報事業

1 有効性

アンケート調査の概要	※平成22年度県政世論調査と同一の質問項目で実施
【対象及び実施数】	県内各種イベント来場者 のべ439名
【実施時期】	①県植樹祭(5月15日)、②県民の日イベント(6月15日)、 ③エコもりフェア(10月9日、10日)
【調査結果】	アンケート対象 439人
1 平成20年4月から本県で導入している『とちぎの元気な森づくり県民税』いわゆる森林環境税について、次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。	「名称も税額も知っており、かつ税の使い道も知っている」14.4% 「名称も税額も知っており、かつ税の使い道もある程度知っている」13.2% 「名称と税額のみ知っている」6.6% 「名称は知っているが、税額は知らない」29.2% 「名称も税額も知らない」28.0% 「無効回答」8.7%

2 効率性

事業費決算額 (千円) A	納税義務者数 (千人) B	1人当たりの事業費 (円/人) A/B	比較対照
9,342	979	9.5	他県との比較 A県:5,446千円、886千人、6.1円/人

3 進ちょく度

計画 (セット) A	実績 (セット) B	B/A (%)
・パンフレット作成 60,000部 ・テレビ、ラジオ 206回 ・税事業実施箇所バスツアー 4回 ・普及啓発用DVD制作 ・-	・パンフレット作成 58,000部 ・テレビ、ラジオ 206回 ・税事業実施箇所バスツアー 3回 ・普及啓発用DVD制作 100枚 ・のぼり旗作成 200枚	75 100 75 - 皆増

【森を育む人づくり】

9. 森づくり活動地域支援事業

1 有効性

アンケート調査の概要	
【対象及び実施数】	事業を実施したすべての市町 19市町
【実施時期】	平成23年4月
【調査結果】 アンケート対象 19市町	
1 この事業はあなたの市町の森づくり行政や森林環境教育行政に役立ちましたか。	「非常に役立った」42%、「役立った」53%、「役立たなかった」0%、「どちらとも言えない」5%
2 この事業により、あなたの市町は森づくりや環境森林教育に取り組みやすくなりましたか。	「非常に取り組みやすくなった」26%、「取り組みやすくなった」58%、「これまでと変わらない」11%、「どちらでもない」5%
3 この事業を実施して団体や県民の反応はいかがでしたか。	「非常に好評であった」26%、「好評であった」63%、「良くなかった」0%、「どちらとも言えない」11%
4 今後もこの事業を積極的に活用しますか。	「大いに活用する」42%、「活用する」53%、「活用しない」0%、「未定」5%
5 とちぎの元気な森づくり県民税で、この事業が行われたことはよかったですか。	「非常に良かった」37%、「良かった」58%、「良くなかった」0%、「どちらとも言えない」5%

2 効率性

事業費決算額 (千円) A	実施団体数 (団体) B	1団体当たりの事業費 (千円/団体) A/B	比較対照
11,759	54	218	他県との比較 A県:8,406千円、36団体、234千円/団体

3 進捗よく度

計画 (市町) A	実績 (市町) B	B/A (%)
19	19	100

【森を育む人づくり】

10. 木の香る環境づくり支援事業

1 有効性

アンケート調査の概要	
【対象及び実施数】	事業を実施したすべての市町 18市町(施設整備4、間伐材有効利用4、木の良さ普及啓発18)
【実施時期】	平成23年3～4月
【調査結果】 アンケート対象 18市町	
1 この事業はあなたの市町における環境森林行政に役立ちましたか。	「非常に役立った」28%、「役立った」72%、 「役立たなかった」0%、「どちらとも言えない」0%
2 この事業により、あなたの市町は木の良さ普及啓発に取り組みやすくなりましたか。	「非常に取り組みやすくなった」22%、 「取り組みやすくなった」67%、 「これまでと変わらない」11%、「どちらでもない」0%
3 この事業により実施(支援)したことによる市町民等の反応はいかがでしたか。	「非常に好評であった」33%、「好評であった」61%、 「良くなかった」0%、「どちらとも言えない」6%
4 今後もこの事業を積極的に活用したいと思いますか。(木の良さ普及啓発事業)	「大いに活用したい」28%、「活用したい」72%、 「活用したくない」0%、「未定」0%
5 とちぎの元気な森づくり県民税で、この事業が行われたことはよかったですか。	「非常に良かった」39%、「良かった」55%、 「良くなかった」0%、「どちらとも言えない」6%

2 効率性

施設整備事業 ()書きは間伐材有効利用を含んだもの	事業費決算額 (千円) A	県産材使用量 (m ³) B	1m ³ 当たりの事業費 (千円/m ³) A/B	比較対照
	22,790 (24,706)	54.1 (81.1)	421 (305)	前年度との比較 平成21年度事業実績: 695(168)千円/m ³
木の良さ普及啓発事業	事業費決算額 (千円) A	参加者数 (人) B	1人当たりの事業費 (千円/人) A/B	比較対照
	4,503	5,893	0.8	前年度との比較 平成21年度事業実績: 0.8千円/人

3 進ちょく度

区分	計画 (施設・回) A	実績 (施設・回) B	B/A (%)	備考
施設整備事業等 (施設)	8	8	100	施設数4、間伐材利用4
木の良さ普及啓発事業 (回)	111	111	100	イベント等実施回数

【森を育む人づくり】

11. 特色ある緑豊かな地域推進事業

1 有効性

アンケート調査の概要	
【対象及び実施数】	森づくり活動参加者 235名
【実施時期】	随時
【調査結果】 アンケート対象 235人	
1 今回の活動により、森づくりについて理解が深まりましたか。	「非常に深まった」52%、「ある程度理解が深まった」43%、「あまり理解が深まらなかった」3%、「これまでとほとんど変わらない」2%
2 今回の活動は、あなたの今後の森づくり活動に役立ちますか。	「大いに役立つ」51%、「ある程度役立つ」43%、「あまり役立たない」3%、「役立たない」0%、「どちらとも言えない」3%
3 今後も森づくり活動等に取り組みたいと思いますか。	「これまで以上に取り組みたい」38%、「これまでと同じ程度に取り組みたい」55%、「あまり取り組みたくない」1%、「取り組まない」2%、「わからない」4%
4 今回の活動は、「とちぎの元気な森づくり県民税」を活用して行っています。これらの活動が「とちぎの元気な森づくり県民税」により行われてよかったと思いますか。	「とてもよかった」53%、「よかった」43%、「よくなかった」0%、「どちらでもない」4%

2 効率性

事業費決算額 (千円) A	参加者数 (人) B	1人当たりの事業費 (千円/人) A/B	比較対照
2,899	5,758	0.5	他県との比較 A県: 1,979千円、3,007人、0.7千円/人

3 進捗よく度

計画 (市町) A	実績 (市町) B	B/A (%)
3	3	100

とちぎの元気な森づくり県民税事業の実施状況(平成20年度～平成22年度)

事業名／事業内容		平成20年度	平成21年度	平成22年度	累 計
元 気 な 森 づ く り	1 とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業				
	間伐面積	計画 2,050ha 実績 2,078ha	2,627ha 2,663ha	2,827ha 3,302ha	7,504ha 8,043ha
	獣害対策面積	計画 — 実績 —	357ha 357ha	240ha 320ha	597ha 677ha
	森林バイオマス利用モデル面積	計画 — 実績 —	— —	36ha 37ha	36ha 37ha
	2 明るく安全な里山林整備事業				
	整備面積	計画 780ha 実績 533ha	664ha 700ha	579ha 638ha	2,023ha 1,871ha
	3 元気な森を育む木の良さ普及啓発事業				
	木製学習用机・椅子配布数	計画 1,800セット 実績 1,800セット	2,000セット 2,000セット	2,000セット 2,000セット	5,800セット 5,800セット
	木製ベンチ配布数	計画 — 実績 —	— —	500セット 500セット	500セット 500セット
	4 とちぎ森づくり情報センター事業				
「とちぎの森づくり」ホームページの登録者数	計画 30人 実績 28人	100人 56人	150人 113人	150人 113人	
5 とちぎ「森の楽校」事業(※1)					
開催回数	計画 16回 実績 16回	16回 16回	20回 20回	52回 52回	
助成団体数	計画 24団体 実績 24団体	23団体 23団体	20団体 21団体	67団体 68団体	
6 とちぎの元気な森づくり県民会議事業					
木工工作教材配布数	計画 1,000セット 実績 1,076セット	1,000セット 1,000セット	1,300セット 1,300セット	3,300セット 3,376セット	
7 とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会事業					
開催回数	計画 5回 実績 5回	4回 4回	4回 4回	13回 13回	
8 とちぎの元気な森づくり県民広報事業					
パンフレット作成数	計画 50,000部 実績 50,000部	43,000部 43,000部	60,000部 58,000部	153,000部 151,000部	
テレビ、ラジオCM放送回数	計画 288回 実績 288回	180回 188回	206回 206回	674回 682回	
9 森づくり活動地域支援事業(※2)					
実施市町数	計画 12市町 実績 8市町	16市町 16市町	19市町 19市町	47市町 43市町	
10 木の香る環境づくり支援事業					
施設等整備数	計画 5施設 実績 5施設	12施設 12施設	8施設 8施設	25施設 25施設	
イベント実施回数	計画 66回 実績 67回	64回 64回	111回 111回	241回 242回	
11 特色ある緑豊かな地域推進事業					
実施市町数	計画 — 実績 —	5市町 5市町	3市町 3市町	8市町 8市町	

※1 H22年度に「森林環境学習推進事業」を吸収。20年度と21年度の助成団体数は、「森林環境学習推進事業」の計画と実績を記載。

※2 H22年度に「みんなの元気な森づくり支援事業」と「森林環境学習支援事業」を統合し、事業名を変更。20年度と21年度の実施市町数は、「みんなの元気な森づくり支援事業」の計画と実績を記載。

● 税事業の実施方法及び今後のあり方に関する主な意見

1 全般

- 何のために税事業があるのか、基本的なところがわかっていない人が多いのではないかと。県土の保全、水源のかん養、地球温暖化の防止等、森林の有する公益的機能を発揮させるためであるということをPRしていく必要がある。
- 人材の育成のためには、子供の頃から森林の大切さについて教えていく必要がある。

2 奥山林整備事業

- 伐捨て間伐による奥山林整備を基本としつつ、間伐材のさらなる有効活用について検討していく必要がある。
- 獣害対策について、本県と他県とでは被害の深刻度の違いもあり、支援の方法に違いが出ている。被害の大きさや程度などに応じた、総合的な観点から検討していく必要がある。
- 森林バイオマス利用については、総論では反対する人はいないと思うが、実際の採算ベースに合わせた事業化となると課題も多い。奥山林整備事業における間伐材のバイオマス利用の取組の実績を積み重ね、将来の事業化への道筋がつけられることを願う。

3 里山林整備事業

- 税で支援する期間の整備後4年を経過した後が心配。今後、いかに若い人たちを始め地域住民を組織の中に取り込んでいけるか、また、魅力ある取組ができるかが重要な課題である。

4 木の良さ普及啓発事業(木製ベンチ配布)

- 木製ベンチをどこに置けばPRにつながるかということが重要であり、置き方についても設置者に説明する必要がある。

5 とちぎ森づくり情報センター事業

- ホームページの内容の充実や広く周知を図る必要があり、その具体策を検討していく必要がある。

6 森づくり活動地域支援事業

- 事業主体となる市町に対し、事業の内容や対象経費について周知を図る必要がある。

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会

1 委員一覧（五十音順 敬称略）

入江尚見	公募委員	
小野ナツ	栃木県地域婦人連絡協議会会長	
笠原義人	宇都宮大学名誉教授	(委員長)
古口達也	栃木県市町村林野振興対策協議会会長	
児玉博昭	白鷗大学法学部准教授	(委員長職務代理)
小林和美	公募委員	
齋藤正	林業者	
荘司円香	弁護士	
高齋吉明	株式会社とちぎテレビ常務取締役	
高村正勝	日光市森林組合代表理事組合長	
新嶋高行	2000年記念の森の会運営副委員長	
藤生明男	栃木県中小企業団体中央会専務理事	
山口厚江	日本大学・作新学院大学非常勤講師	

2 委員会の開催経過

平成23年度

第1回	平成23年 7月 8日(金)	平成22年度事業実施箇所の現地調査
第2回	平成23年 8月 2日(火)	平成22年度事業評価資料(案)に関する意見交換
第3回	平成23年 9月13日(火)	平成22年度事業評価報告書(案)に関する意見交換